

LIXIL

アーキラインサイクルポートAR-A型 － 1500タイプ －

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 設置場所の確認をしてください。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・施工場所の気象条件（風、雪など）に合った商品かどうか確認してください。
 - ・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
 - ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- 給排水管などの地下埋設物に影響を与えないでください。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 樋樋の端末以降の排水については、当社供給範囲外になっていきますので、施工店様または施主様で手配してください。
- 風当たりの強い場所では、駐輪場周囲を囲わないようにしてください。風が抜けなくなり破損のおそれがあります。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 指定の箇所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン	トスシール380
東レ・ダウコーニング	SE960

<基礎工事について>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず栗石を敷いてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

<電気配線工事について>

⚠ 注意
















- AC100Vの電線の埋設工事、配線工事に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 接地工事は電気設備の技術基準にしたがって、確実に行ってください。

INDEX

1	梱包明細表	4
2	基本寸法と各部名称	7
	1.各部名称	7
	2.基本寸法図	7
3	基本・連棟の施工方法	9
	1.基礎施工	9
	2.柱と桁の取付け	10
	3.垂木の取付け	12
	4.屋根材中間受けの取付け	13
	5.雨樋の取付け	14
	6.屋根材、前枠の取付け	17
	7.桁間カバーの取付け	22
4	埋込型LEDライトの施工方法 オプション	24
	1.LEDライト (LPK-33型) の加工	24
	2.LEDライト (LPK-33型) の取付け	25
5	Y合掌の施工方法 オプション	30
	1.基礎施工	30
	2.Y合掌部材の取付け	31
6	ピクト板の施工方法 オプション	32
	1.ピクト板の取付け	32

1 梱包明細表

【1】柱

名 称	略 図	員 数											
		標準柱			サイン柱			スパンドレル柱			木目調柱		
		中間	端部右	端部左	中間	端部右	端部左	中間	端部右	端部左	中間	端部右	端部左
標準柱(中間)		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
標準柱(端部右)		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
標準柱(端部左)		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サイン柱(中間)		-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
サイン柱(端部右)		-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
サイン柱(端部左)		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
スパンドレル柱(中間)		-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
スパンドレル柱(端部右)		-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
スパンドレル柱(端部左)		-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
木目調柱(中間)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
木目調柱(端部右)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
木目調柱(端部左)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
桁端部キャップ		-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
止水クッション材		-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【1-1】φ4x12トラスタッピンネジ3種		-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【2】桁

名 称	略 図	員 数	
		ポリカ 屋根	アルミ樹 脂複合板
前桁		1	1
後桁		1	1
屋根材中間受け		6	—
【2-1】φ5×16ドリルネジ		12	—

【3】垂木

名 称	略 図	員 数	
		中間	端部
中間垂木		2	1
端部垂木(右)		—	1
端部垂木(左)		—	1
垂木カバー		4	4









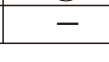




【4】雨樋

名 称	略 図	員 数							
		標準				LEDライト埋込仕様			
		単独	端部右	端部左	連棟	単独	端部右	端部左	連棟
雨樋		1	1	1	1	1	1	1	1
桁間カバー		1	1	1	1	—	—	—	—
桁間カバーフタ		1	1	1	1	1	1	1	1
前枠		6	5	7	6	6	5	7	6
LEDライト埋込桁間カバー		—	—	—	—	1	1	1	1
LEDライト埋込桁間カバーフタ		—	—	—	—	1	1	1	1
【4-1】φ5×16ドリルネジ		—	—	—	—	6	6	6	6

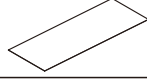
■ 梱包明細表(つづき)

[5] 柱部品

名 称	略 図	員 数	
		中間	端部
雨樋連結材		1	—
角樋		1	2
排水金具		1	2
パッキン		1	2
桁組付け補強板		4	4
エルボ		2	4
前枠金具		12	12
中間垂木キャップ		6	5
端部垂木キャップ右		—	1
端部垂木キャップ左		—	1
垂木固定パッキン		12	14
雨樋キャップ右		—	1
雨樋キャップ左		—	1
補修ペン		—	1
雪下し注意シール		—	1


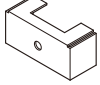

名 称	略 図	員 数	
		中間	端部
【5-1】M8×20座金組込六角ボルト(PW+SW)		16	16
【5-2】φ4×12トラスタッピンネジ3種		2	8
【5-3】φ5×12トラスタッピンネジ3種		155	160
【5-4】M5×30ナベ小ネジ		6	5
【5-5】M5ナット		6	5
【5-6】M5平座金		12	10
【5-7】M5バネ座金		6	5
【5-8】φ5×12トラスタッピンネジ3種(樹脂座金付)		12	12
【5-9】M8×85六角ボルト		12	14
【5-10】M8平座金		12	14
【5-11】M8バネ座金		12	14
【5-12】φ5×16ドリルネジ		5	5
プッシュボタン		1	1
取付説明書<E319>	—	—	1

[6] 屋根材

名 称	略 図	員 数
屋根材		3



[7] 配線カバー

オプション

名 称	略 図	員 数
配線カバー		1
配線カバー端部金具		4
【7-1】φ4×30ドリルネジ		4

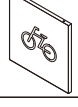
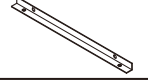


[8] Y合掌部品

オプション

名 称	略 図	員 数
Y合掌水切り		1
【8-1】φ5×16ドリルネジ		6

[9] ピクト板

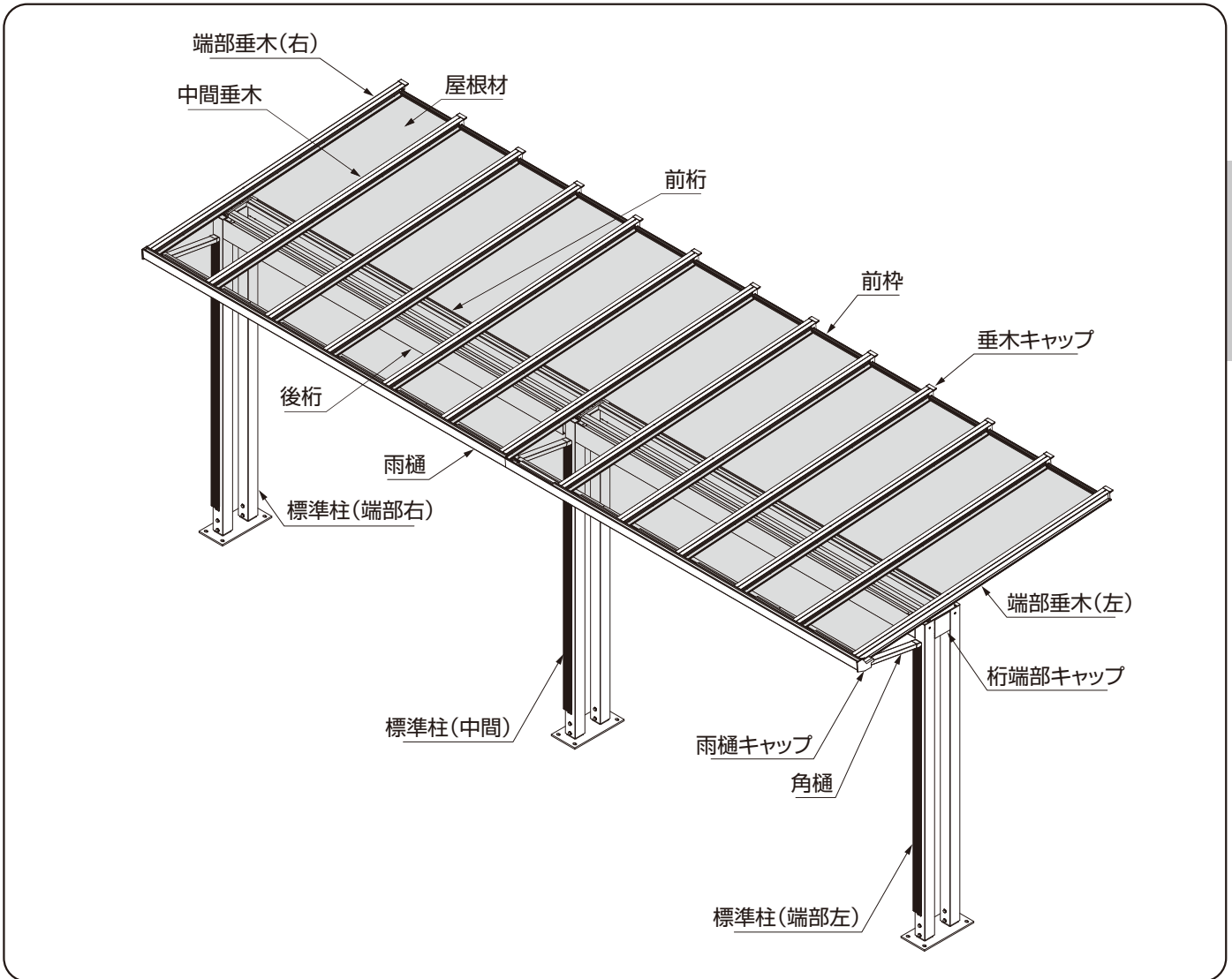
オプション

名 称	略 図	員 数
ピクト板		1
ピクト取付金具		2
【9-1】φ5×20ナベタッピンネジ3種		4
【9-2】M4×10六角穴付ボタンボルト		4

※シーリング材／コーキング材は付属していません。
P.2の表の物を別途ご用意ください。

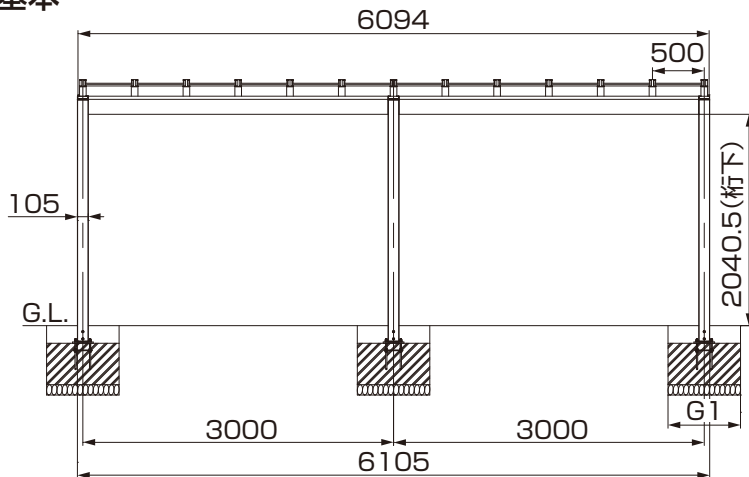
2 基本寸法と各部名称

1. 各部名称



2. 基本寸法図

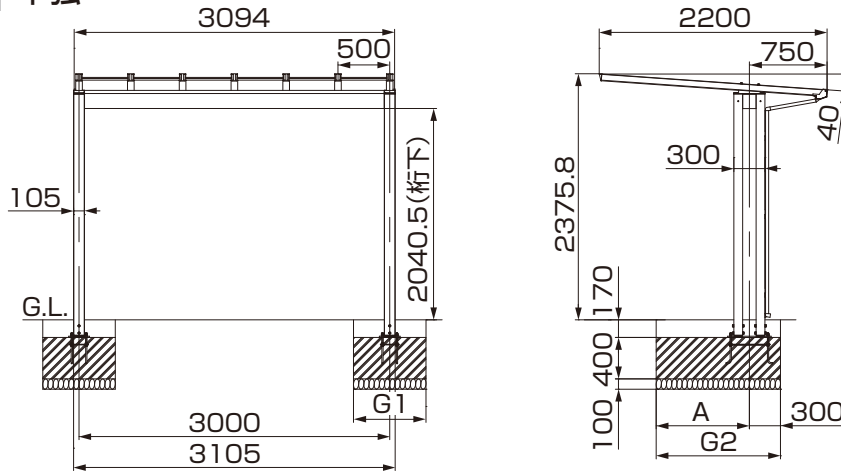
2-1 基本



基準風速	G1
34m/s	700
38m/s	800

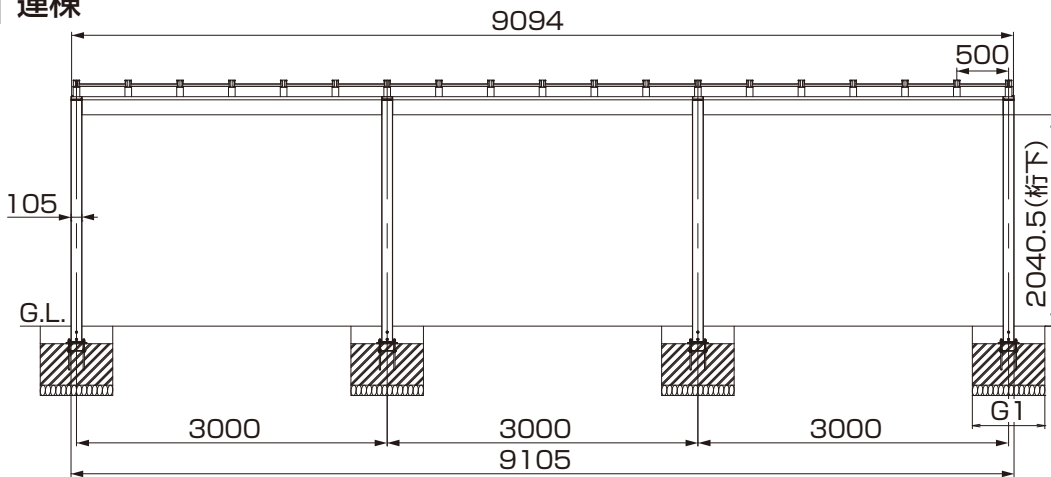
2. 基本寸法图

2-2 单独

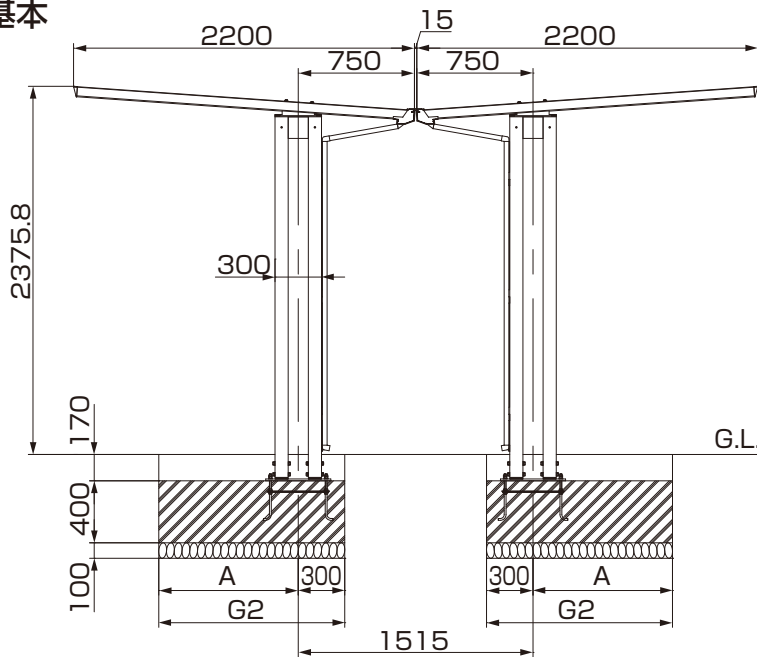


基準風速	G1	G2	A
34m/s	700	1200	900
38m/s	800	1300	1000

2-3 連棟



2-4 Y合掌基本



3 基本・連棟の施工方法

1. 基礎施工

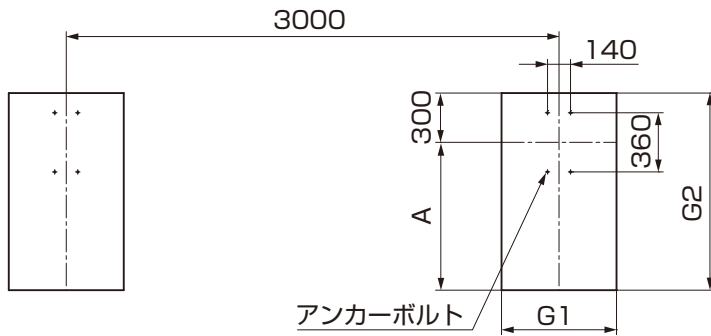


図1-1

基準風速	G1	G2	A
34m/s	700	1200	900
38m/s	800	1300	1000

ポイント

- アンカーボルトは別途アンカーセットで施工してください。
- アンカーボルトの施工時には、必ずアンカーセットの取付説明書(E311)をお読みください。
- 基礎のレベルが出ているか確認してください。レベルが出ていないと桁の取付けが困難になります。

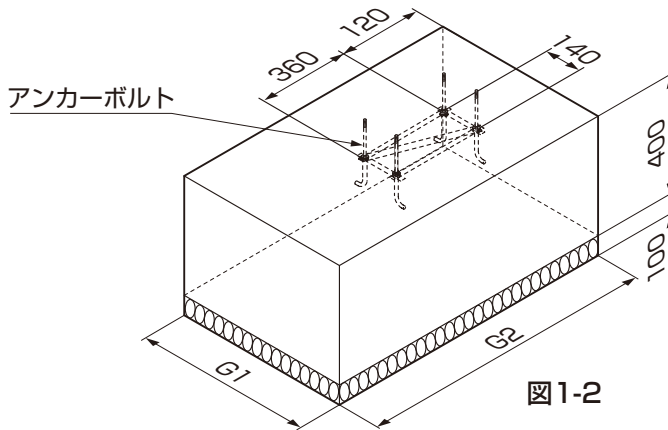


図1-2

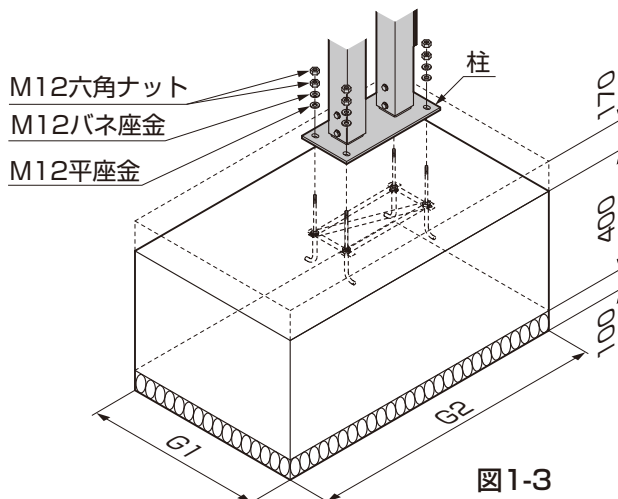


図1-3

補足

- 基礎は地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度50kN/m²のときの参考寸法です。設置場所や地盤状況に合わせて検証してください。

ポイント

- 柱、桁は片追い施工です。下図のような手順で取付けてください。



①柱をナットで仮固定。



②固定した柱に桁を差込み、仮固定。



③反対側の柱を桁に差込み、柱をナットで仮固定。桁を固定。

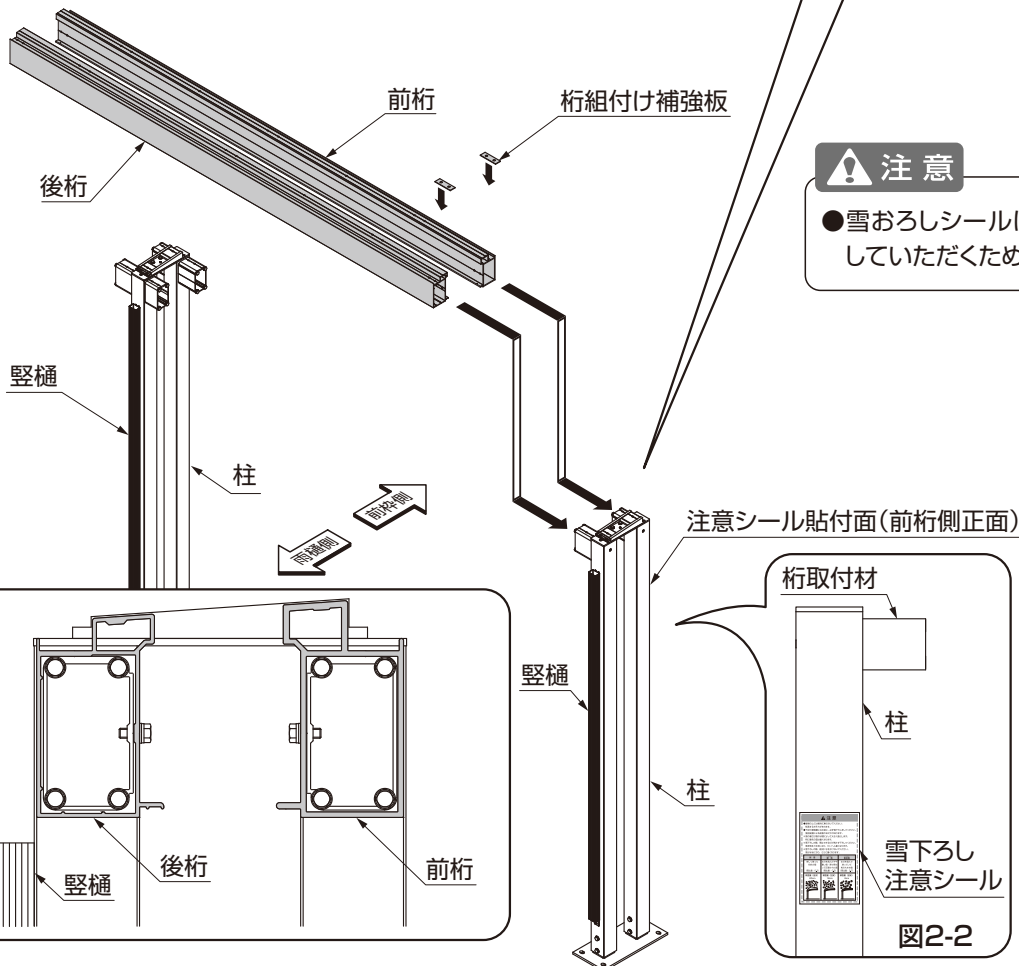
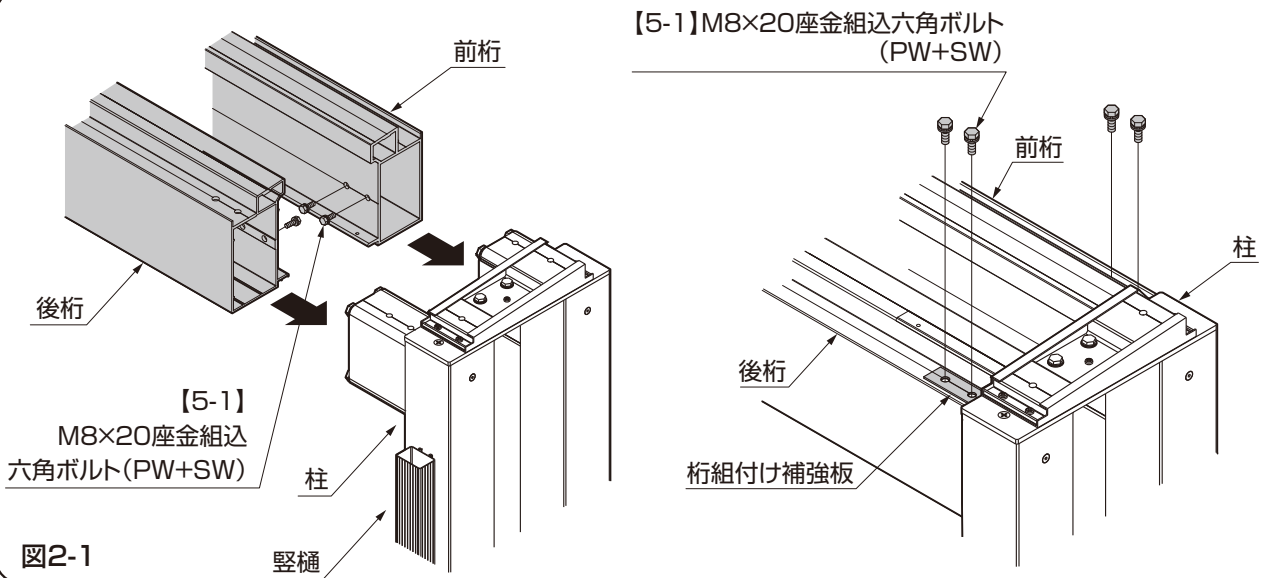
- ナットは桁を柱に差込んでから仮締めし、桁取付後に本締めしてください。
- 柱の埋め込みは桁の取付以降に行ってください。

2. 柱と桁の取付け

- ①前桁、後桁を片方の柱に差込み、横面は【5-1】で、上面は桁組付け補強板をのせ、【5-1】で仮固定してください。
(図2-1参照)
- ②端部の柱の見やすい高さに注意シールを貼ってください。
(図2-2参照)

補足

- 縦樋が取付いている柱に後桁を取付けてください。



注意

- 雪おろしシールは、施主様に安全に使用していただくために必要です

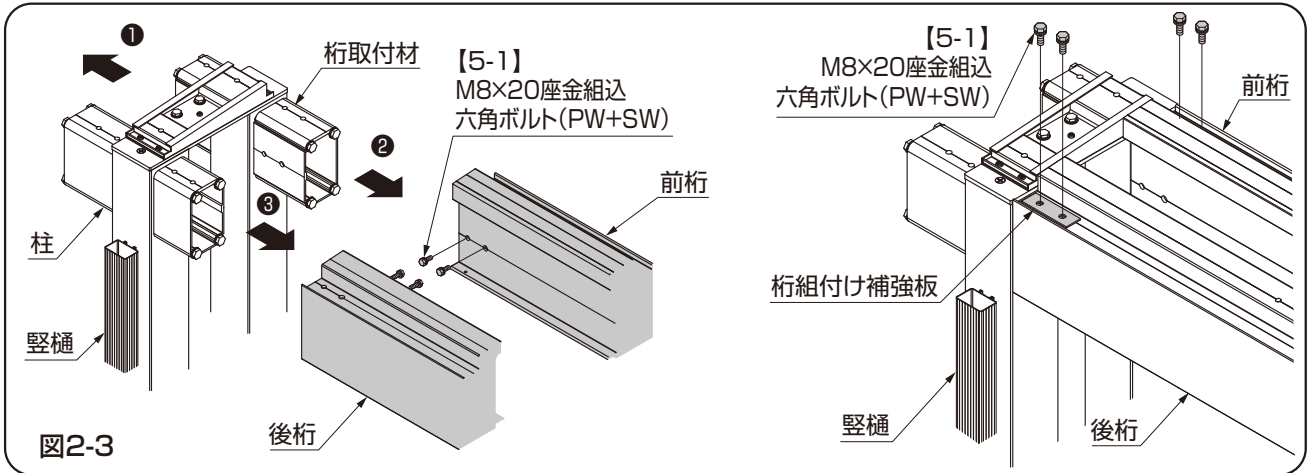
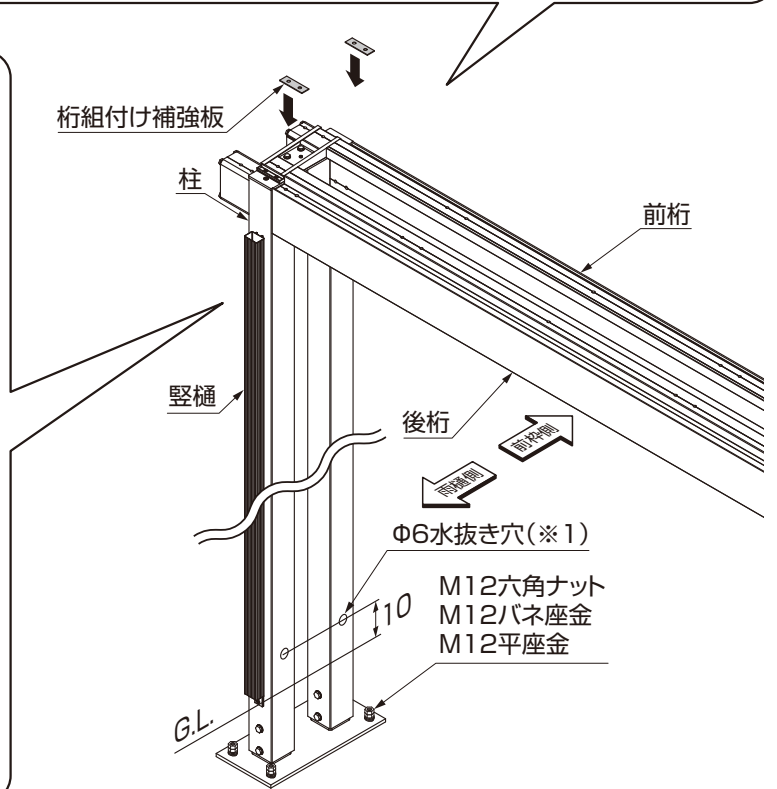
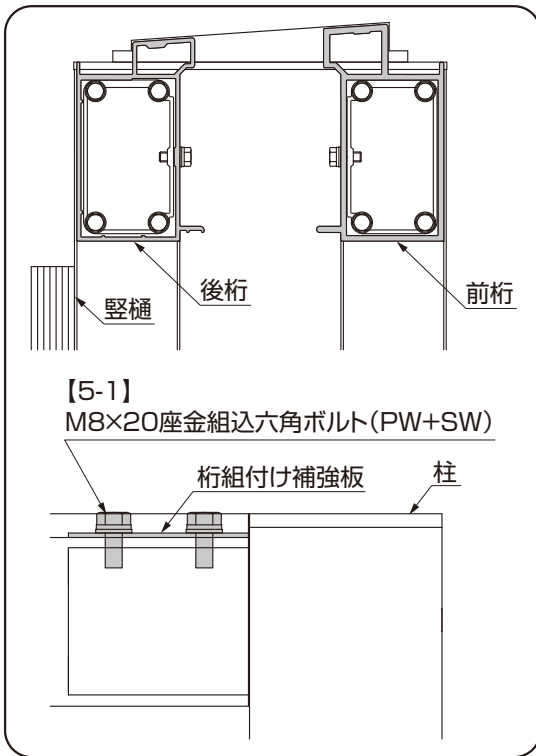


図2-3



- ③もう片方の柱を、前桁、後桁に差込み、横面は【5-1】で、上面は桁組付け補強板をのせ、【5-1】で仮固定してください。(図2-3参照)
- ④仮固定した【5-1】を本締めしてください。
- ⑤桁の取付けが完了した柱をM12六角ナット、M12バネ座金、M12平座金で固定してください。

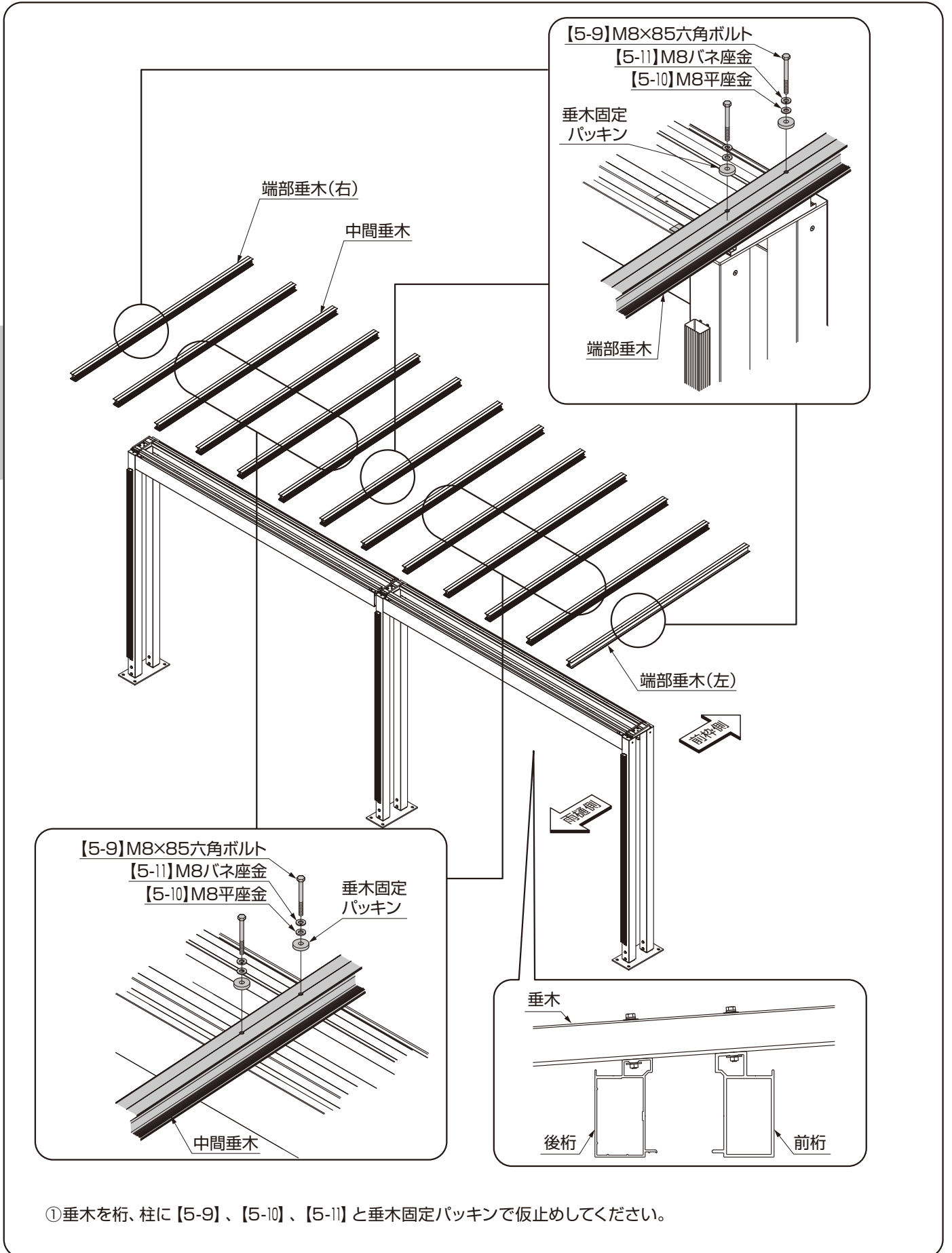
注意

- 柱のG.L.付近(地上側)にφ6の水抜き穴をあけてください。(※1)柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。本図は標準柱を示します。サイン柱、スパンドレル柱、木目調柱も同様の位置に水抜き穴をあけてください。

補足

- 柱を桁に差込むときは、①柱を反対側にふり、②長い方の桁取付材から桁に差込み、③次に短い方の桁取付材を桁に差込むと取付け易くなります。(図2-3参照)

3. 垂木の取付け



4. 屋根材中間受けの取付け

※ポリカ屋根仕様のみ作業

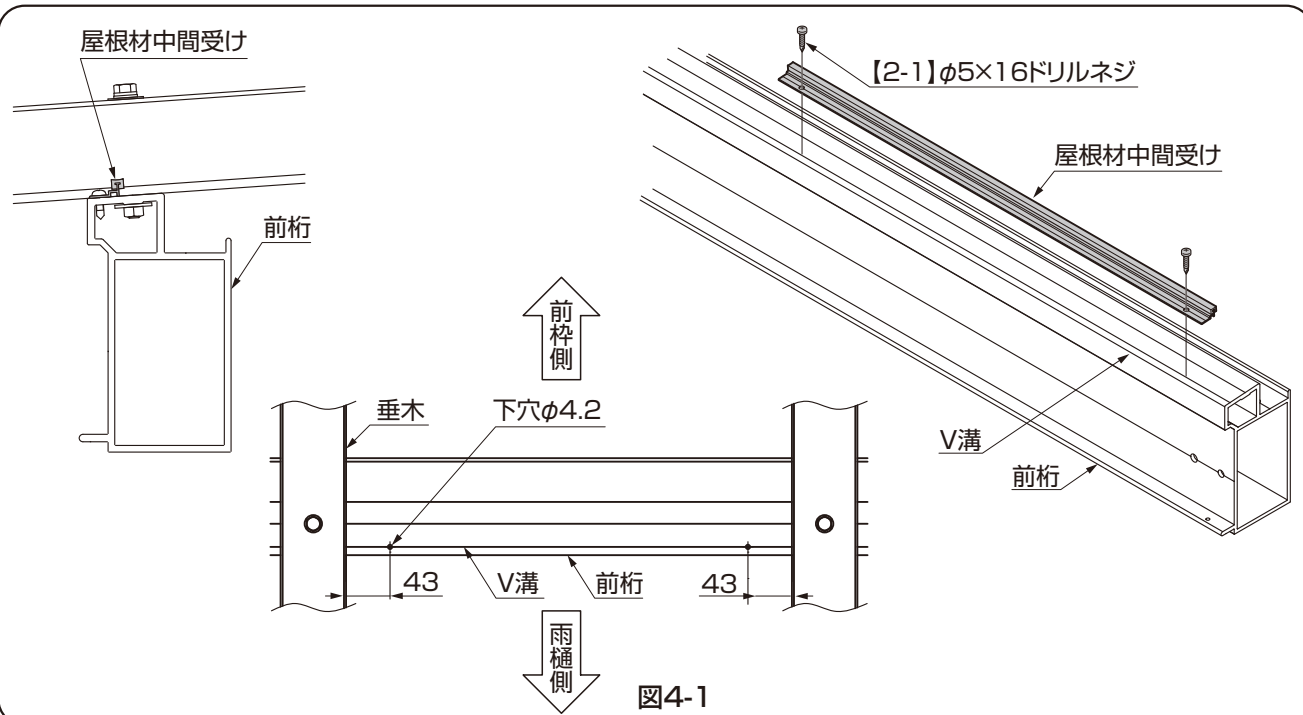
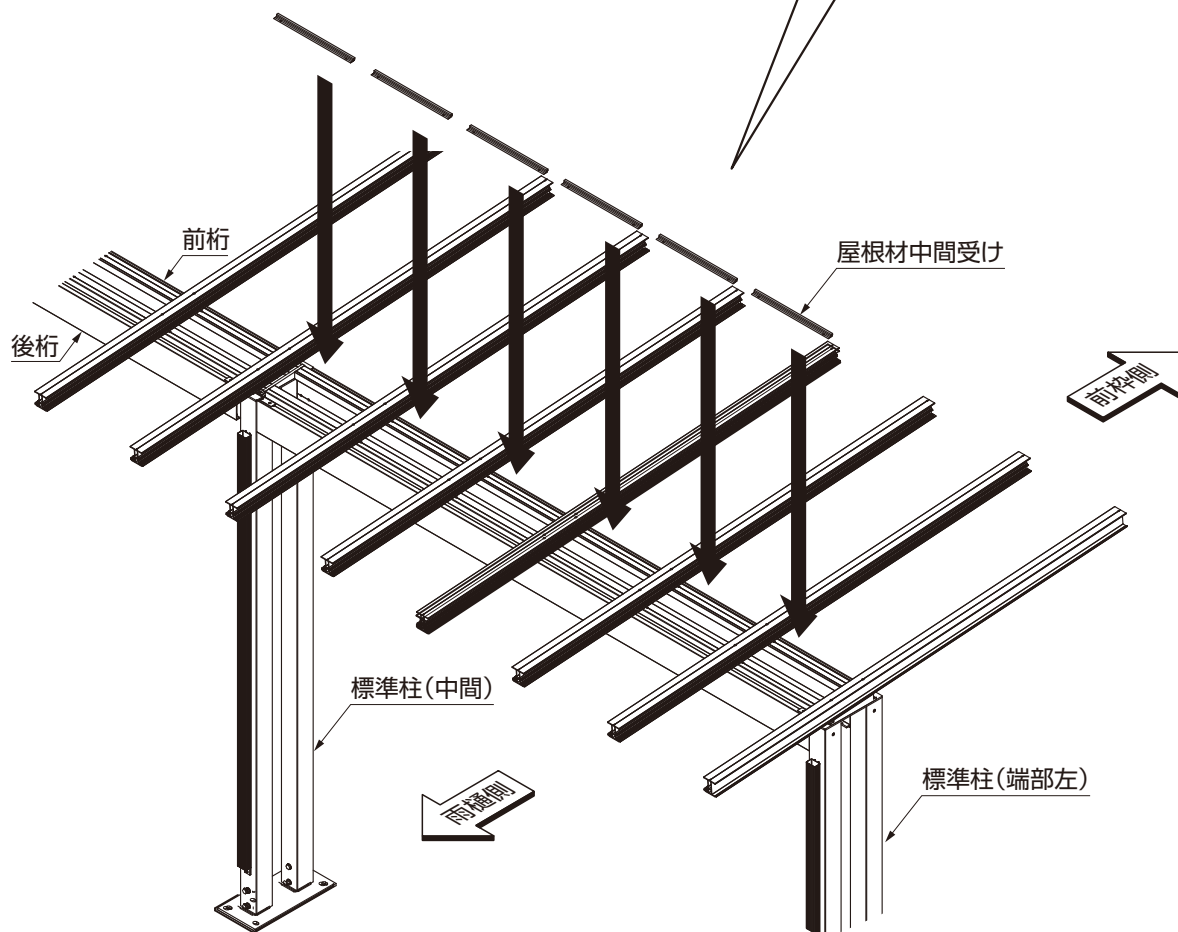


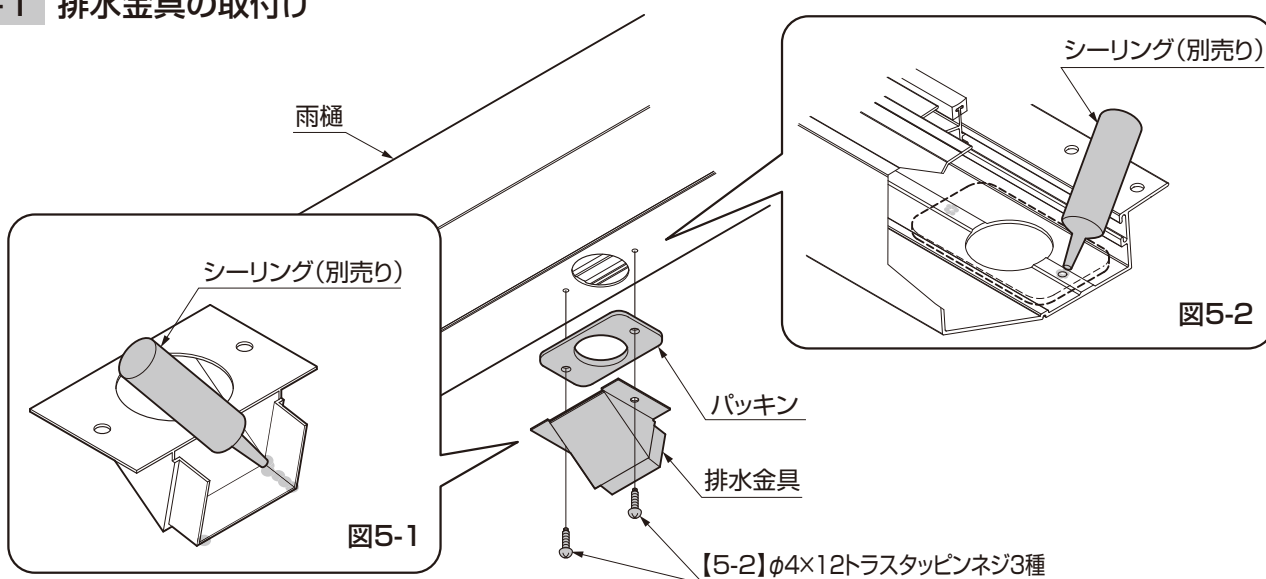
図4-1



- ①前桁の垂木間に、屋根材中間受け取付用の下穴をあけてください。(図4-1参照)
- ②屋根材中間受けを①の位置に【2-1】で取付けてください。

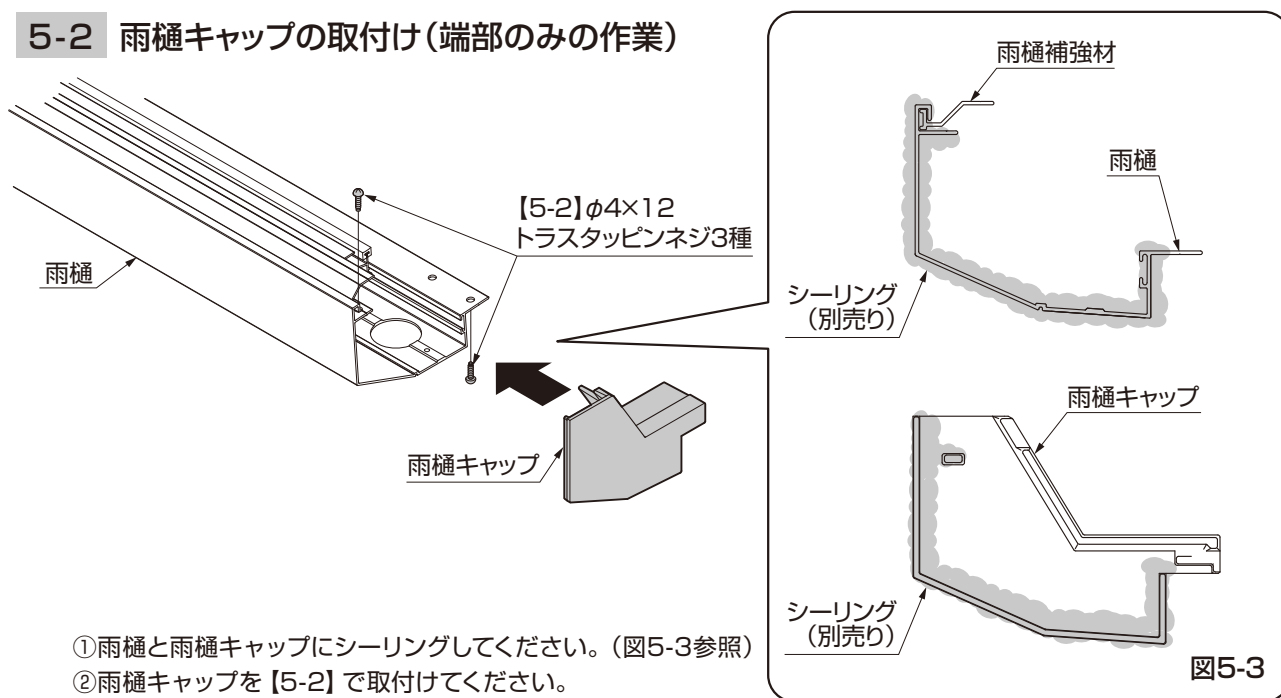
5. 雨樋の取付け

5-1 排水金具の取付け



- ①排水金具にシーリングしてください。(図5-1参照)
- ②雨樋に排水金具を【5-2】で取付けてください。
- ③排水孔のネジ部にシーリングしてください。(図5-2参照)

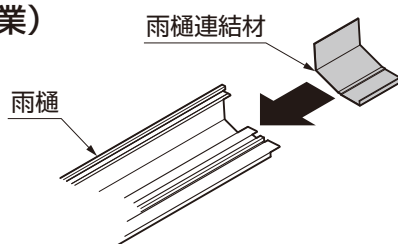
5-2 雨樋キャップの取付け(端部のみの作業)



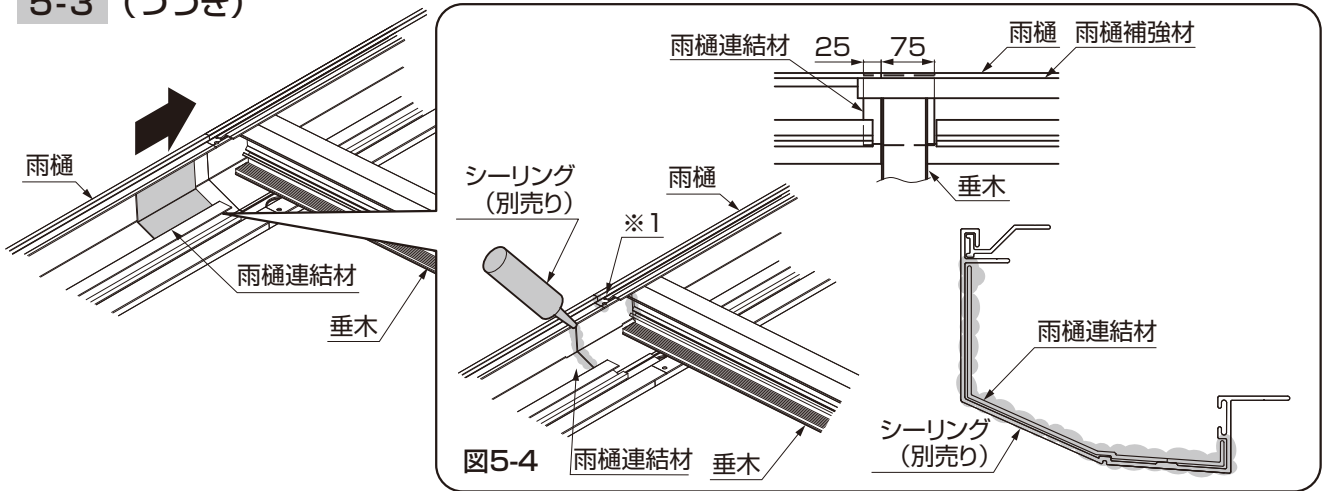
- ①雨樋と雨樋キャップにシーリングしてください。(図5-3参照)
- ②雨樋キャップを【5-2】で取付けてください。

5-3 雨樋連結材の取付け(連結部のみの作業)

- ①雨樋に雨樋連結材を差込んでください。



5-3 (つづき)



②雨樋取付後、雨樋連結材を連結部までずらし、周囲をシーリングしてください。(図5-4参照)

5-4 雨樋の取付け

- ①雨樋を垂木に【5-3】で取付けてください。
- ②端部右と連棟は飛び出している雨樋補強材を連結する雨樋に差込んでください。(図5-5参照)
- ③差込んだ雨樋補強材の小口面をシーリングしてください。(図5-4参照) (※1)

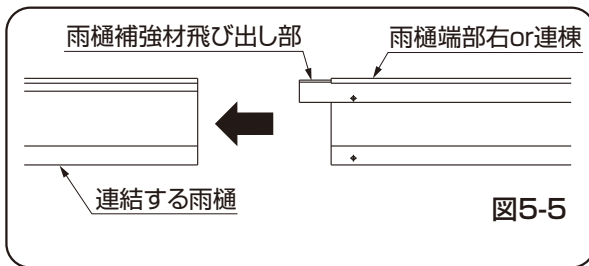


図5-5

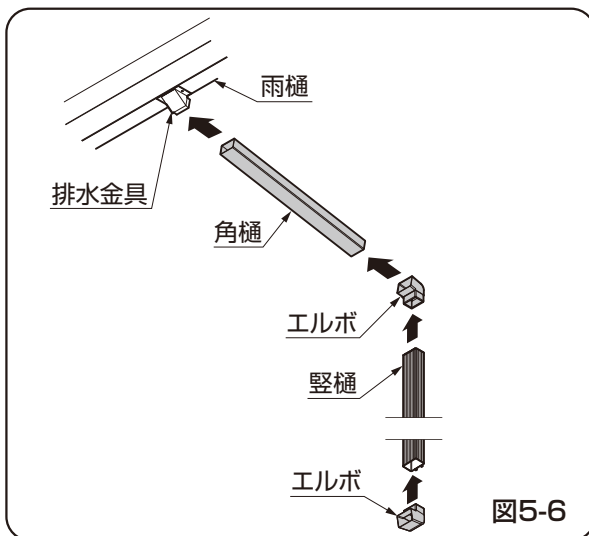
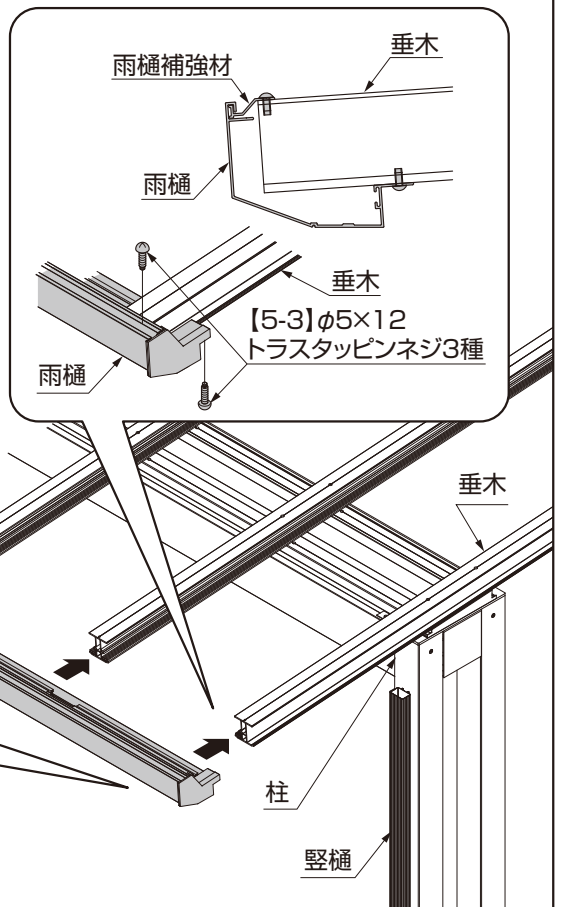


図5-6

④角樋、エルボを排水金具、縦樋に差込んでください。(図5-6参照)

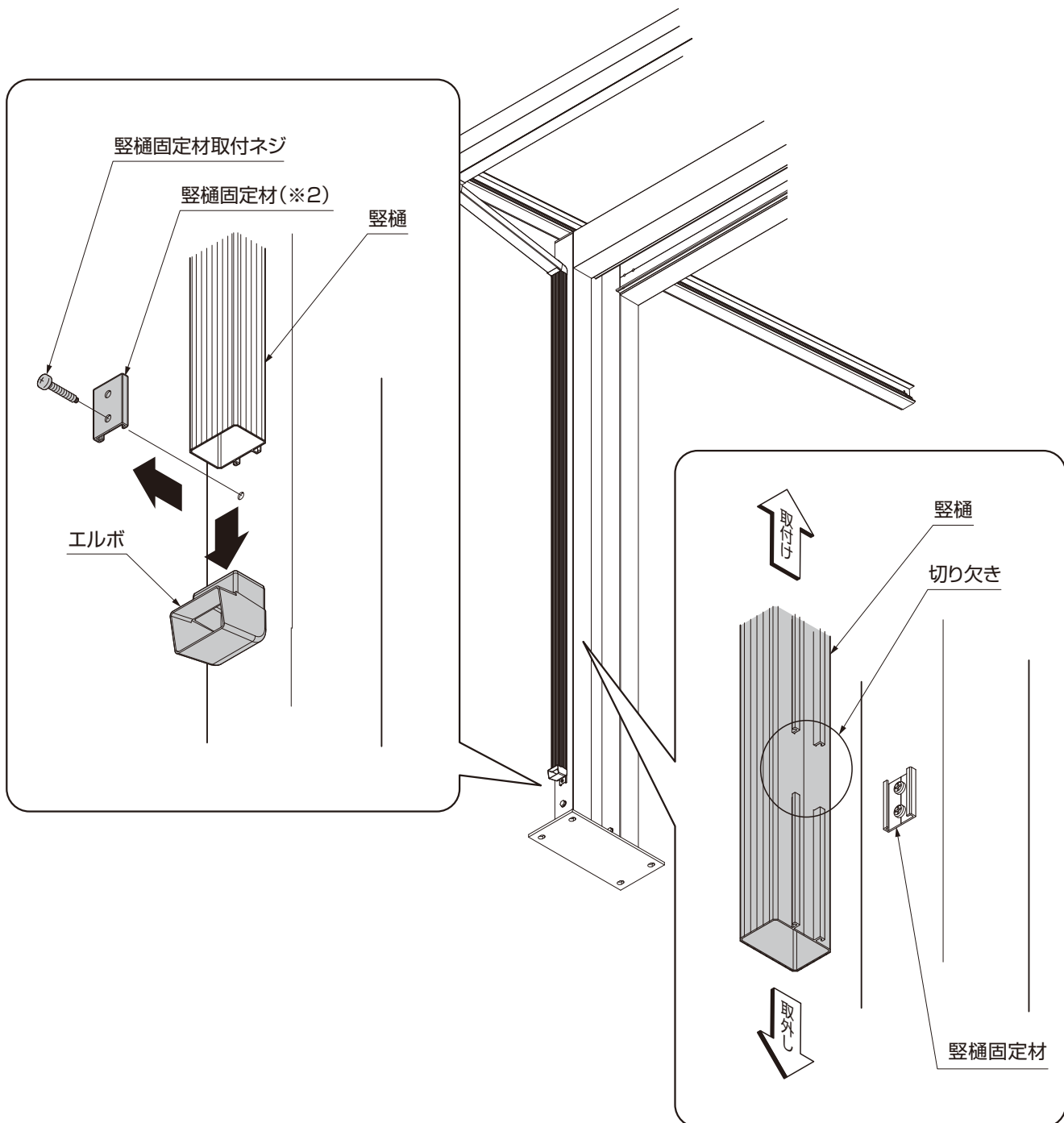
補足

●角樋、エルボ、縦樋が組付けづらい場合、縦樋を下にずらすと組付けやすくなります。縦樋の脱着は次ページを参照してください。



5. (つづき)

5-5 縦樋の着脱方法



- ① 縦樋の下のエルボを外し、一番下の縦樋固定材のネジを外し縦樋固定材を取り外してください。
- ② 縦樋を下にずらし、縦樋の切り欠きと縦樋固定材の位置をあわせ縦樋を取り外してください。
- ③ 縦樋を取付ける場合は、縦樋の3カ所の切り欠きと縦樋固定材を合わせ、縦樋のフィンを縦樋固定材に差し込み、上にスライドさせ、一番下の縦樋固定材を取付けてください。

ポイント

- 一番下の縦樋固定材(※2)は、図の向きに取付けてください。

6. 屋根材、前枠の取付け ※端部から1スパンずつ順番に作業を繰り返して取付けてください。

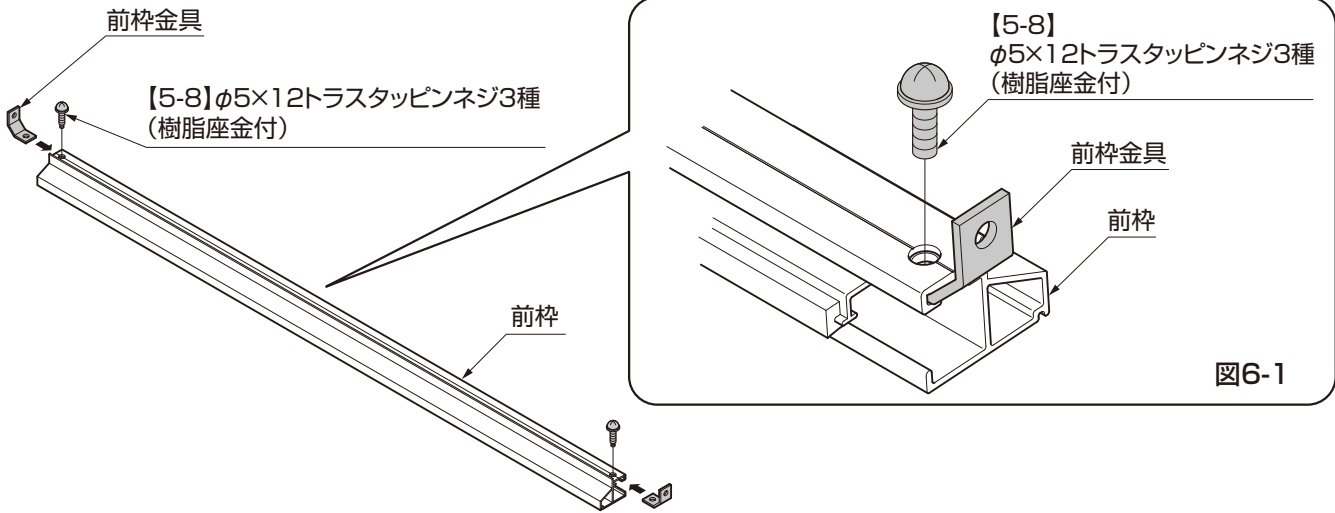


図6-1

①前枠に前枠金具を【5-8】で取付けてください。(図6-1参照)

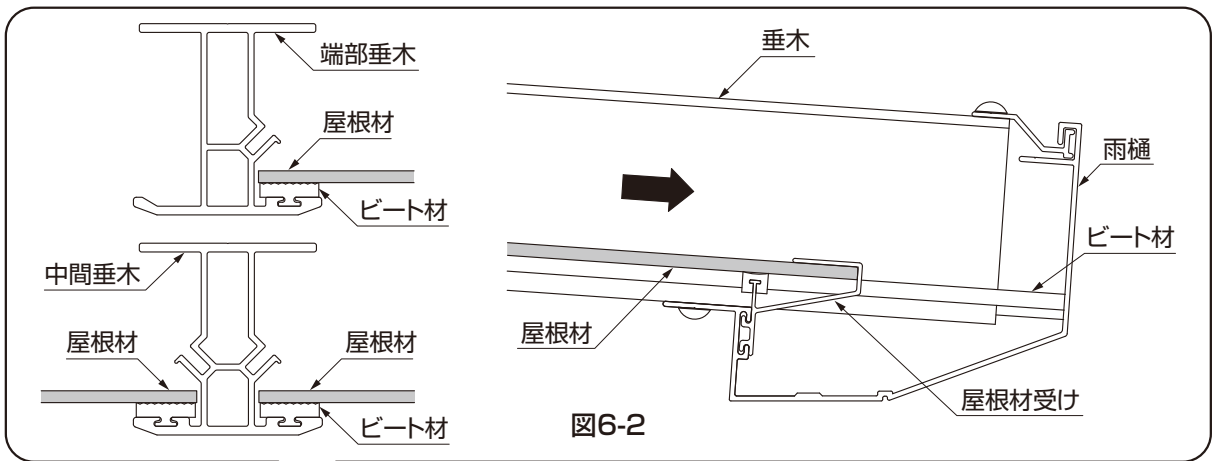
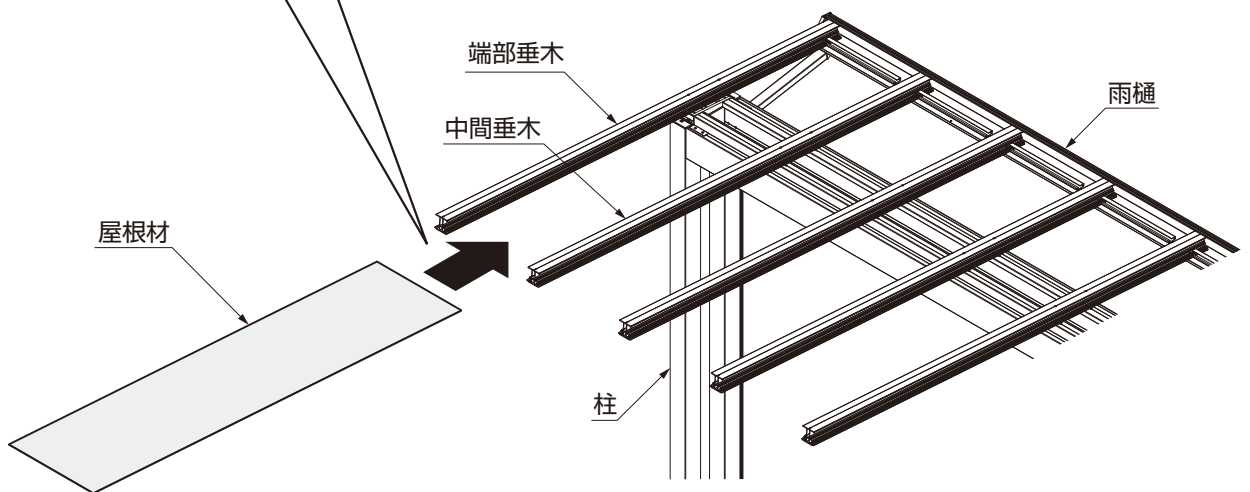


図6-2

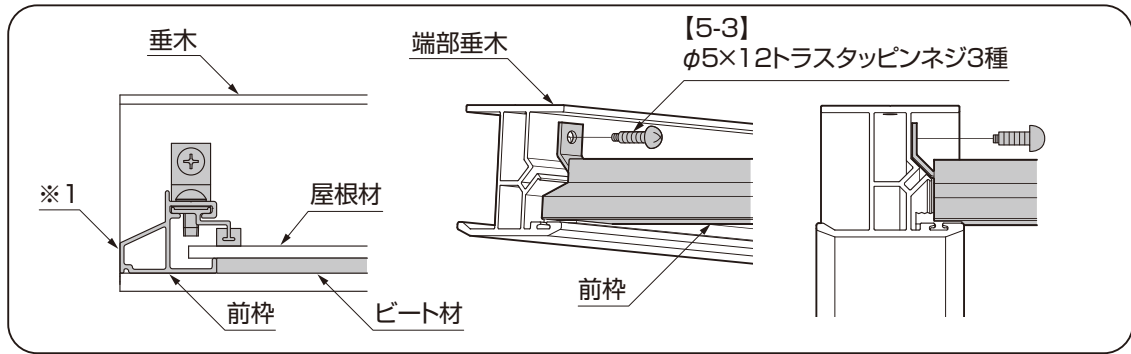


②屋根材を垂木に左右均等になるようにのせ、雨樋の屋根材受けに当たるまで差込んでください。(図6-2参照)

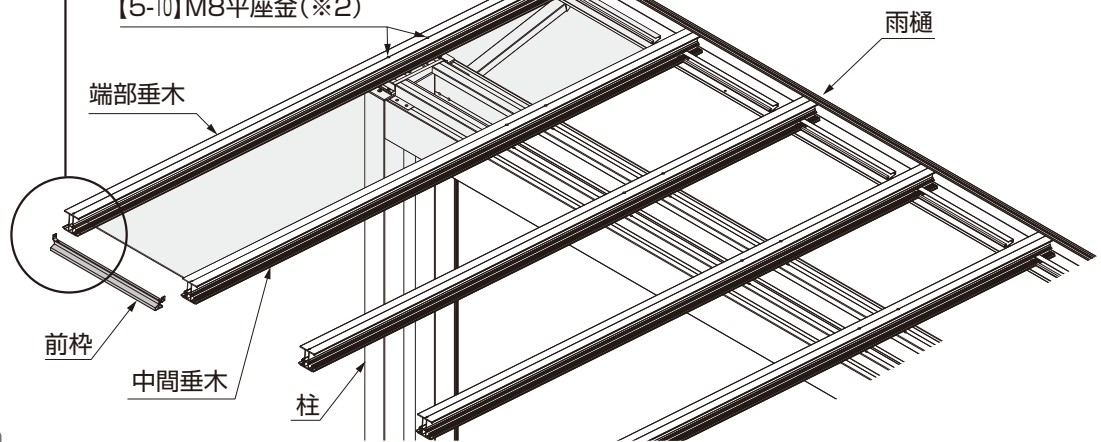
ポイント

- 屋根材にポリカーボネート板を使用するときは裏表を確認してください。
- 屋根材には保護シートがついています。はがしてから取付けてください。

6. (つづき)



【5-9】M8×85六角ボルト
 【5-11】M8バネ座金
 【5-10】M8平座金(※2)



ポイント

●前杵は垂木端面からとびださないように取付けてください。垂木キャップが取付けられなくなるおそれがあります。(※1)

③前杵を端部垂木に【5-3】で取付けてください。

④仮止めしていた端部垂木の【5-9】、【5-10】、【5-11】を固定してください。(※2)

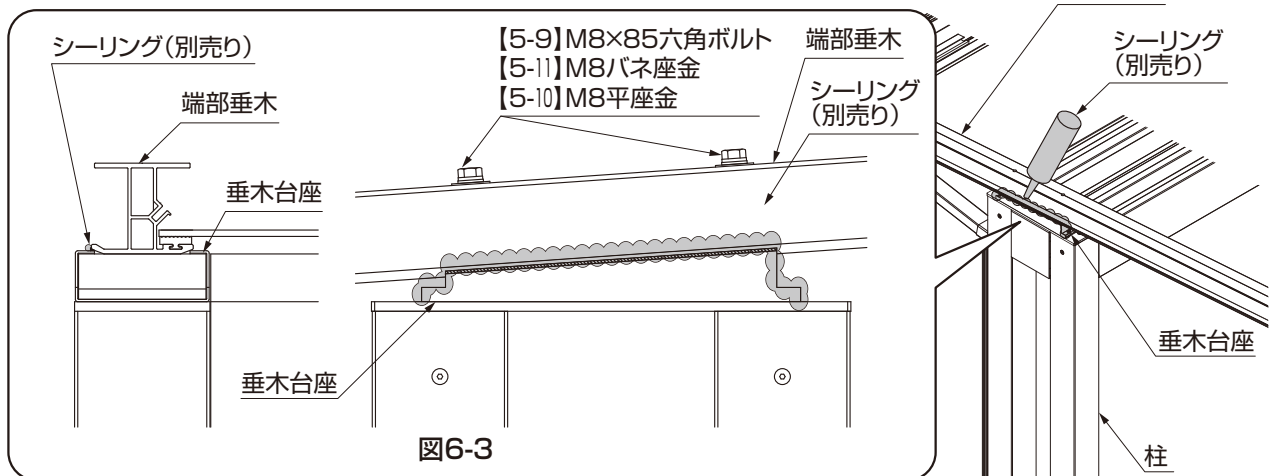


図6-3

⑤端部垂木と垂木台座の隙間にシーリングしてください。(図6-3参照)

補足

●シーリングする際は、マスキング処理をしてから行うと、不要な所にシーリングがつくことなく、きれいに仕上げることができます。

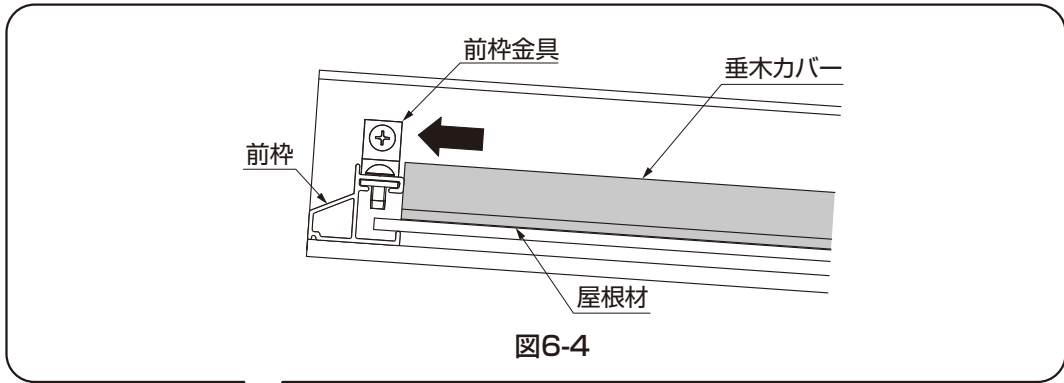


図6-4

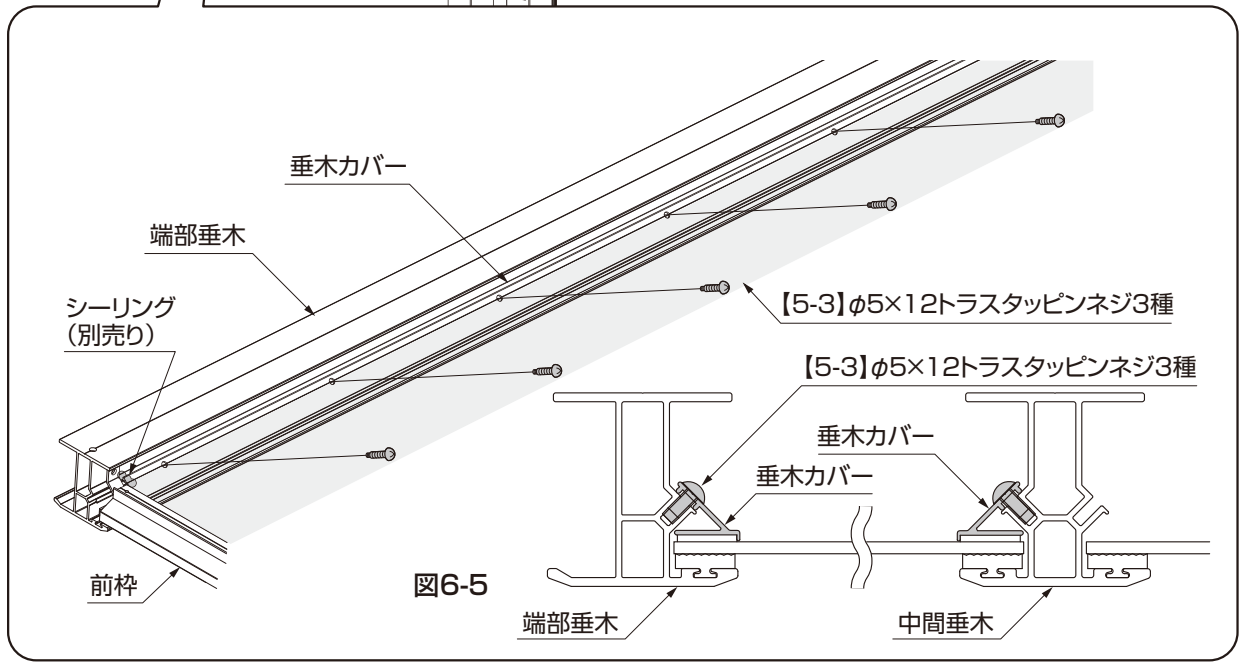
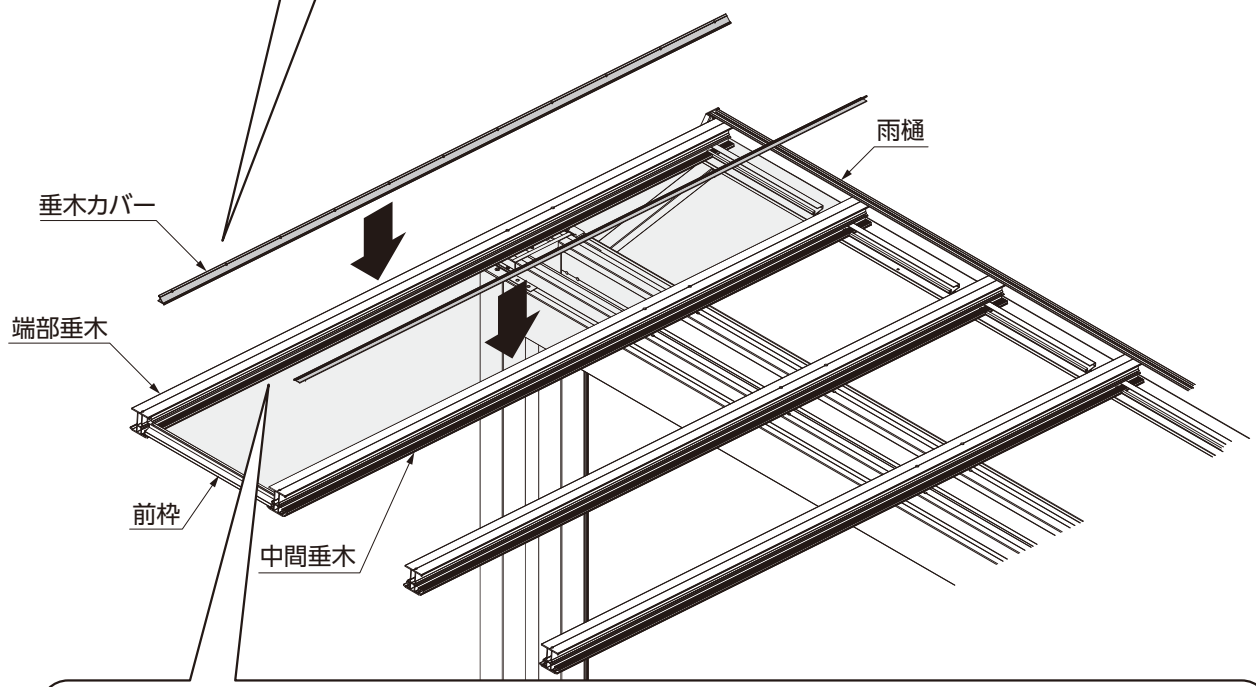


図6-5

⑥ 垂木カバーを前柵と隙間が無いように置き、【5-3】で取付けてください。(図6-4、図6-5参照)

6. (つづき)

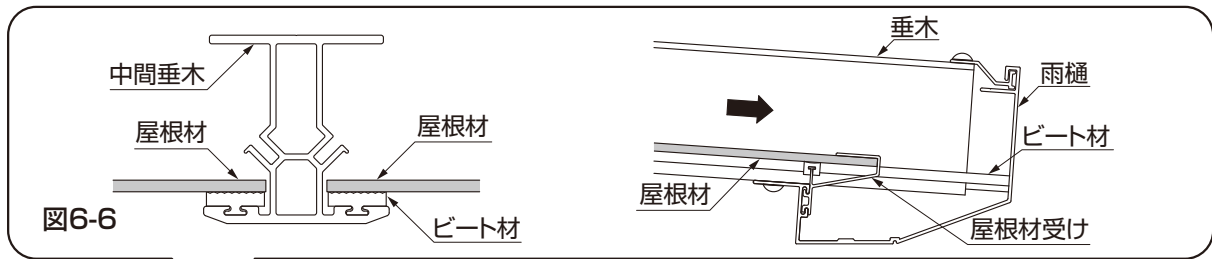
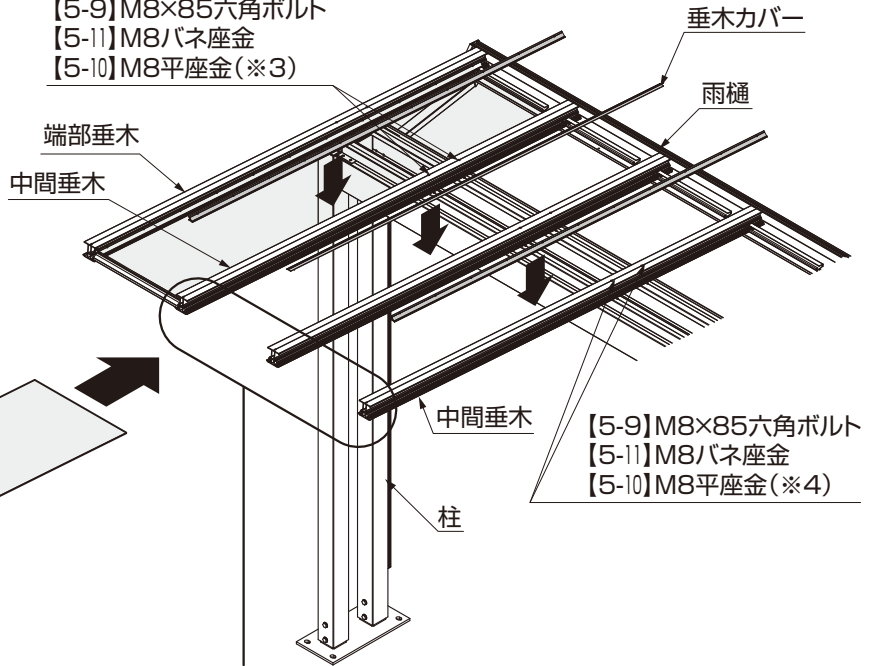
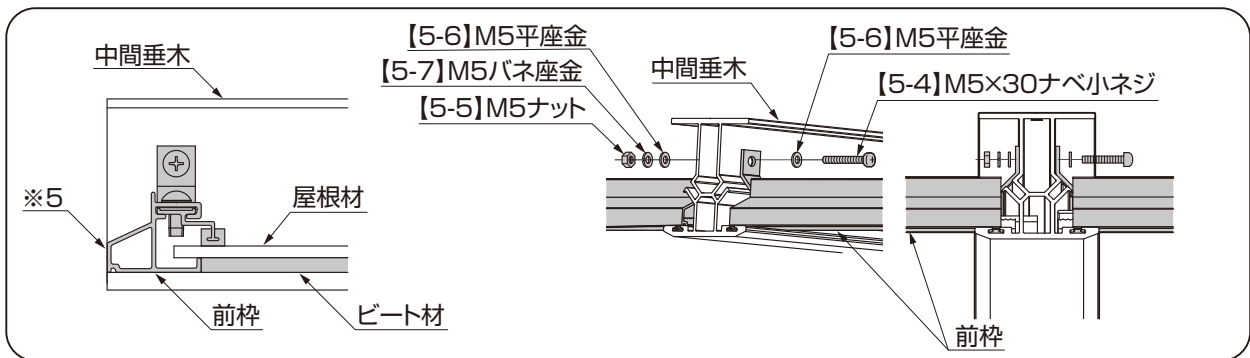
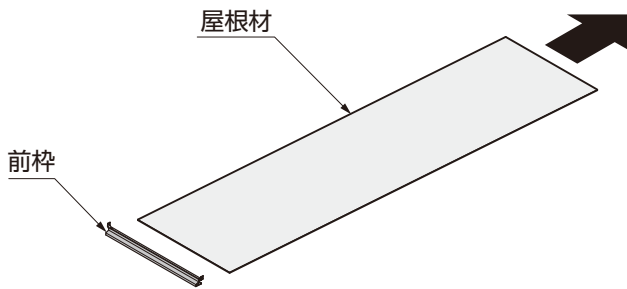


図6-6

【5-9】M8×85六角ボルト
【5-11】M8バネ座金
【5-10】M8平座金(※3)



【5-9】M8×85六角ボルト
【5-11】M8バネ座金
【5-10】M8平座金(※4)



※5

【5-6】M5平座金
【5-7】M5バネ座金
【5-5】M5ナット

【5-6】M5平座金

【5-4】M5×30ナベ小ネジ

⑦屋根材を垂木に左右均等になるようにのせ、雨樋の屋根材受けに当たるまで差込んでください。(図6-6参照)

ポイント

- 前枠は垂木端面からとびださないように取付けてください。垂木キャップが取付けられなくなるおそれがあります。(※5)
- 【5-9】、【5-10】、【5-11】は両側に屋根材が取付いた垂木のものを本締めしてください。

⑧前枠を中間垂木に【5-4】、【5-5】、【5-6】、【5-7】で取付けてください。

⑨仮止めしていた中間垂木の【5-9】、【5-10】、【5-11】を固定してください。(※3)

(※4)は次の屋根材、前枠の取付後、固定してください。

⑩垂木カバーを前枠と隙間が無いように置き、【5-3】で取付けてください。(図6-4、図6-5参照)

⑪中間スパンを⑦～⑩同様に、1スパンずつ取付けてください。

⑫端部スパンを②～⑥同様に取付けてください。

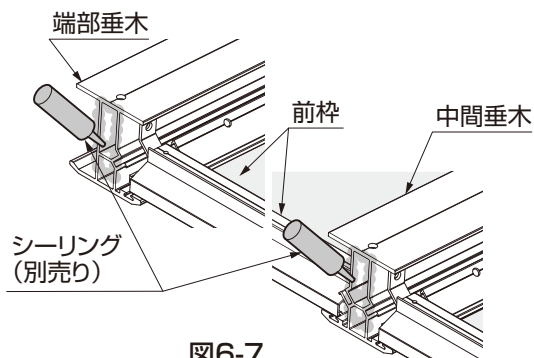
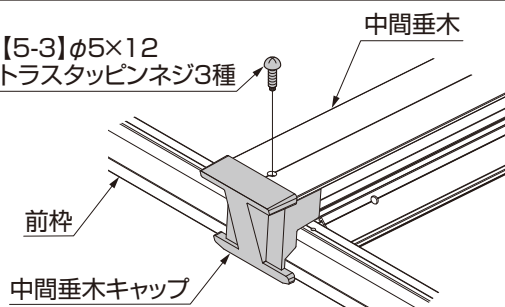


図6-7

【5-3】φ5×12
トラスタッピンネジ3種



補足

- シーリングする際は、マスキング処理をしてから行くと、不要な所にシーリングがつくことなく、きれいに仕上げることができます。

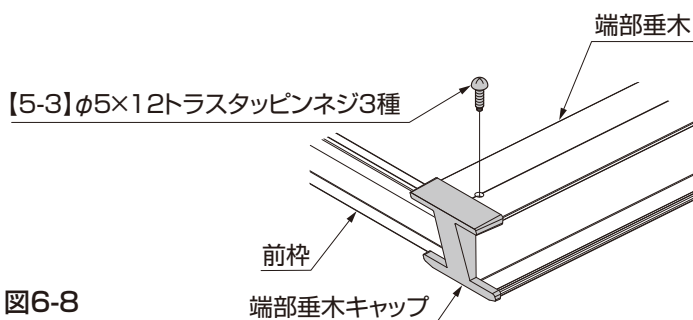
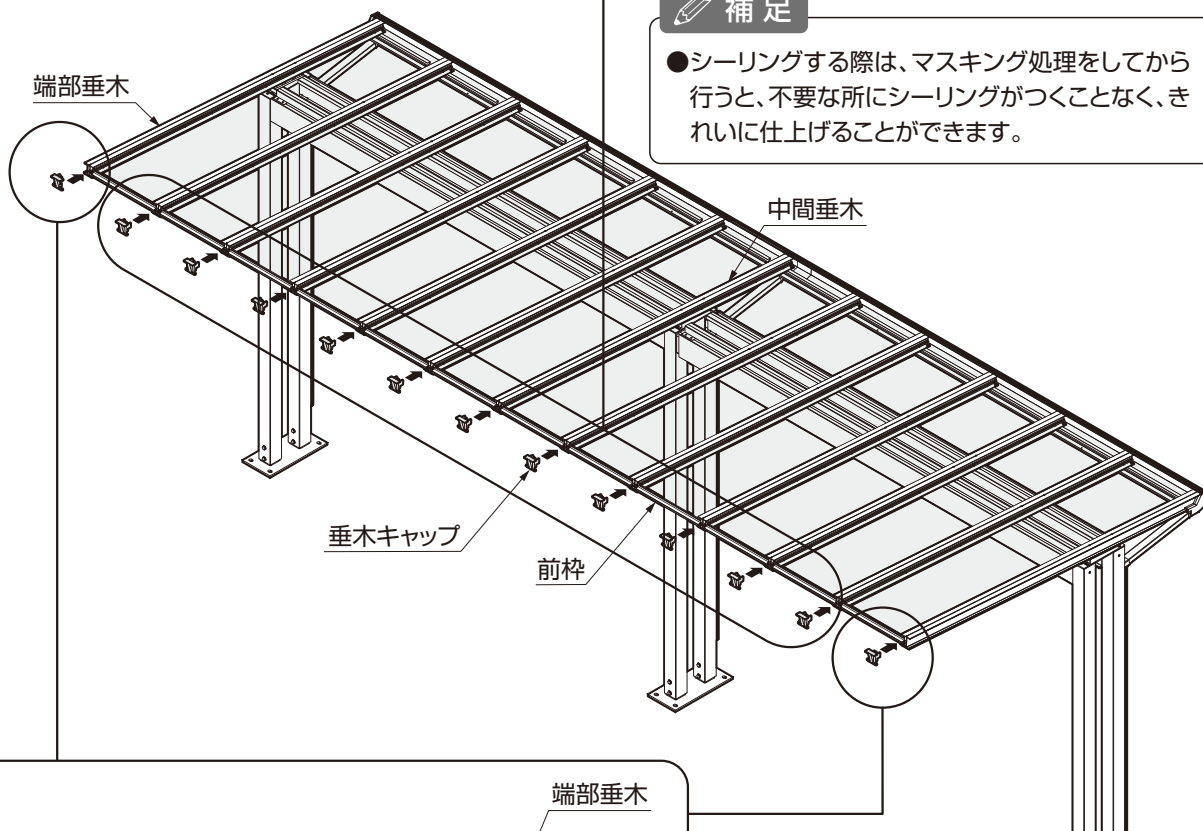


図6-8

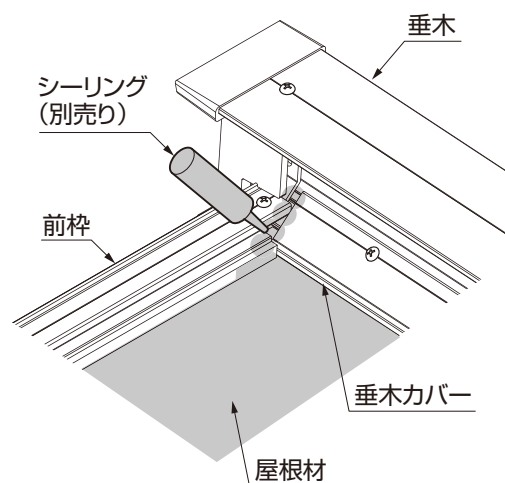


図6-9

- ⑬ 垂木の垂木キャップ取付面にシーリングしてから、中間垂木には中間垂木キャップ、端部垂木右には端部垂木キャップ右、端部垂木左には端部垂木キャップ左を【5-3】で取付けてください。(図6-7参照)
- ⑭ 前枠と垂木、垂木カバーにシーリングしてください。(図6-9参照)

7. 桁間カバーの取付け

ポイント

●桁間カバーに照明を取付ける場合、照明を取付けてから桁間カバーを取付けてください。

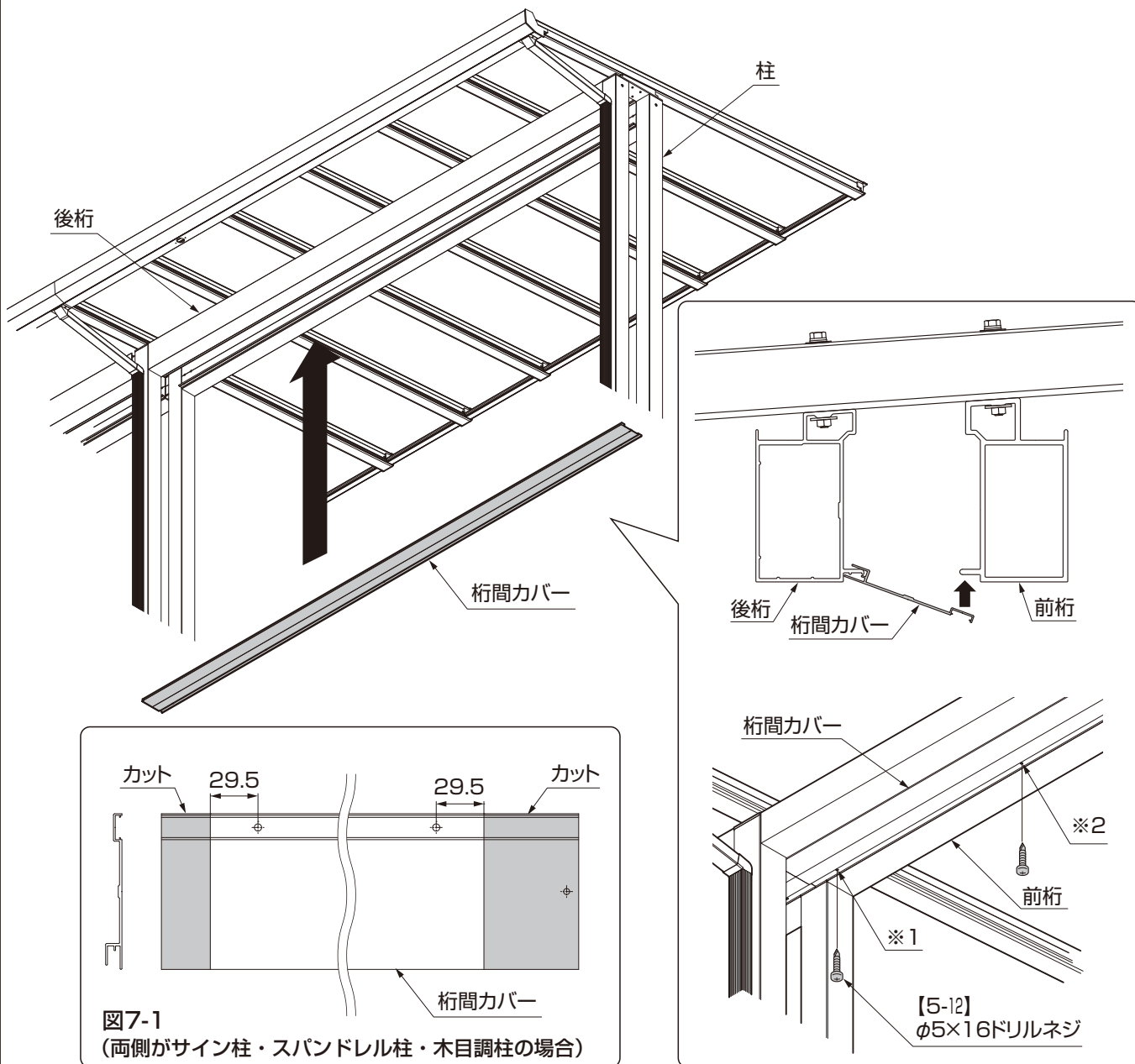


図7-1
(両側がサイン柱・スパンドレル柱・木目調柱の場合)

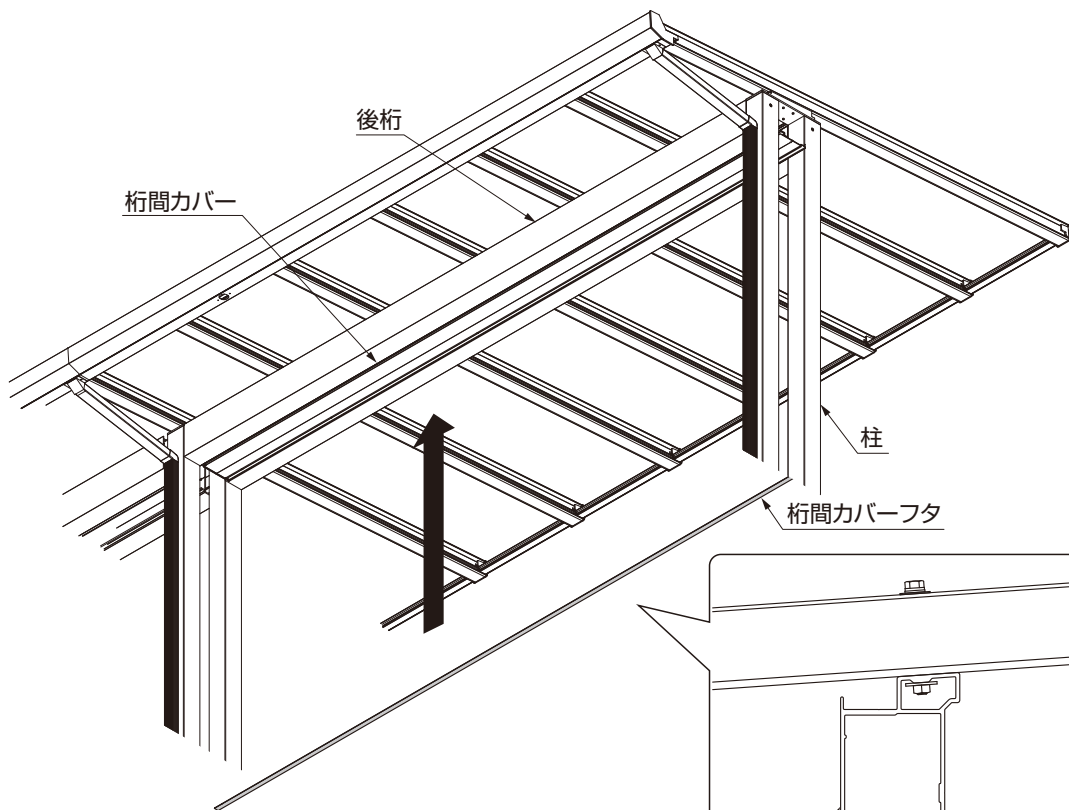
①桁間カバーを後桁のフィンに差込んでから、前桁に【5-12】で取付けてください。

補足

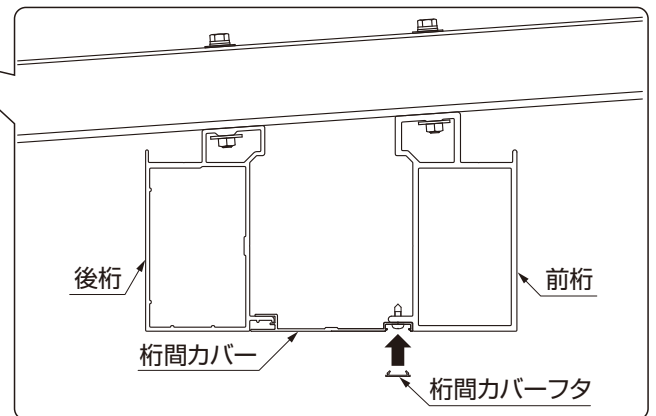
●前桁には両端部のみ固定穴があいています。(※1)
中間部にはあいていないので、桁間カバーの穴位置にあわせてφ4.2の下穴をあけ、取付けてください。(※2)

ポイント

●サイン柱、スパンドレル柱、木目調柱間に取付けるときは、端部をカットすると取付けやすくなります。(図7-1参照)



② 桁間カバーフタを桁間カバーにはめ込んでください。



止水クッション材

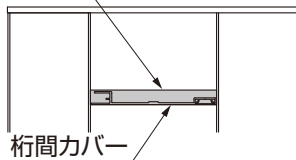


図7-2

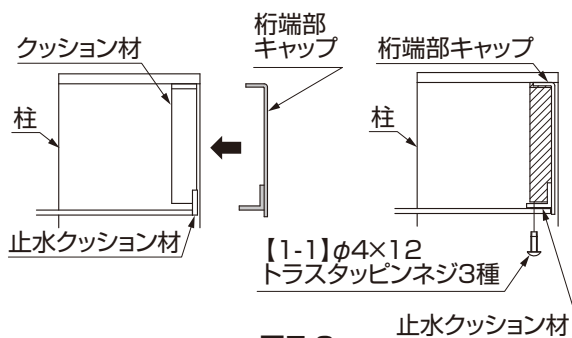
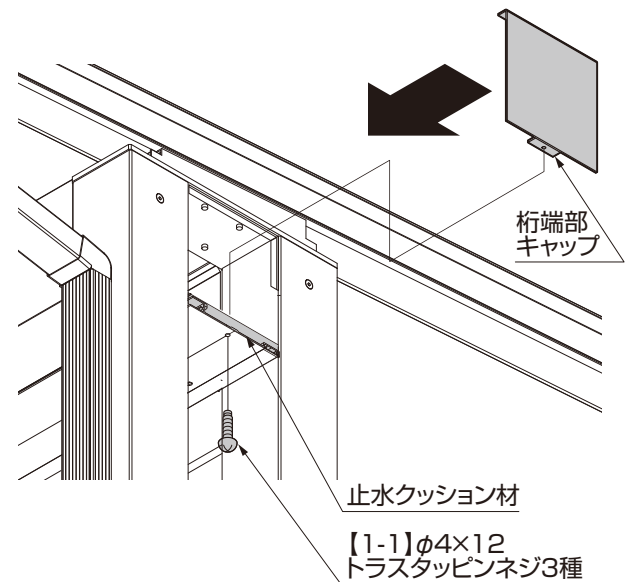


図7-3



③ 桁間カバーに止水クッション材を貼付けてください。(図7-2参照)

④ 桁端部キャップを【1-1】で桁間カバーに取付けてください。

ポイント

- 桁端部キャップは止水クッション材を押しつぶすように、グッと水平に押し込んでください。(図7-3参照)
- 取付けた桁端部キャップが柱より外側にはみ出していないか確認してください。

4 埋込型LEDライトの施工方法 **オプション**

1. LEDライト(LPK-33型)の加工

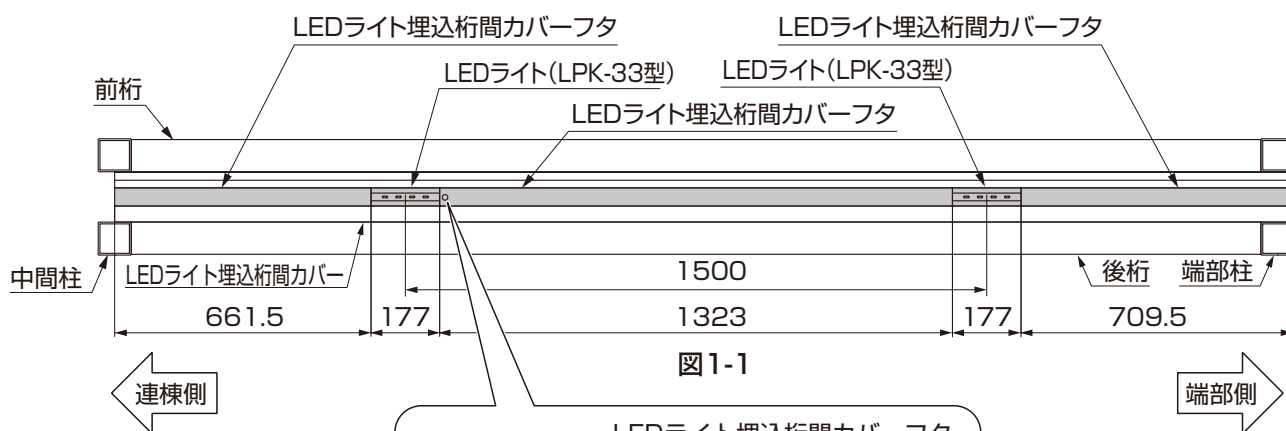


図1-1

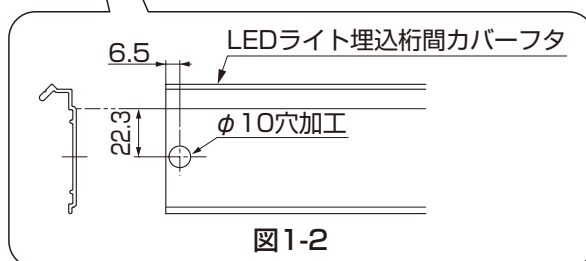


図1-2

- ① LEDライト取付け位置を決め、LEDライト埋込桁間カバーフタを図の長さに切断してください。(図1-1参照)
- ② LEDライト埋込桁間カバーフタにφ10の穴加工をしてください。(図1-2参照)

ポイント

- (図1-1)は、弊社推奨のLEDライト取付け位置です。
LEDライト取付けピッチが1500mmを超えると、駐輪場基準照度(3ルクス以上)を確保できなくなります。

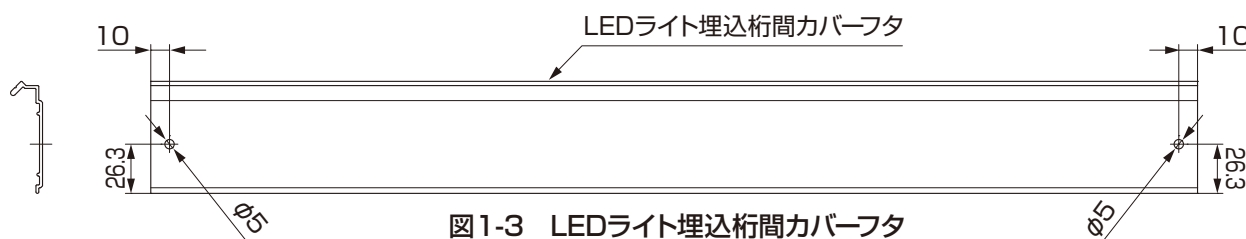


図1-3 LEDライト埋込桁間カバーフタ



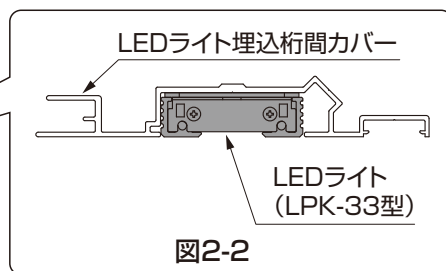
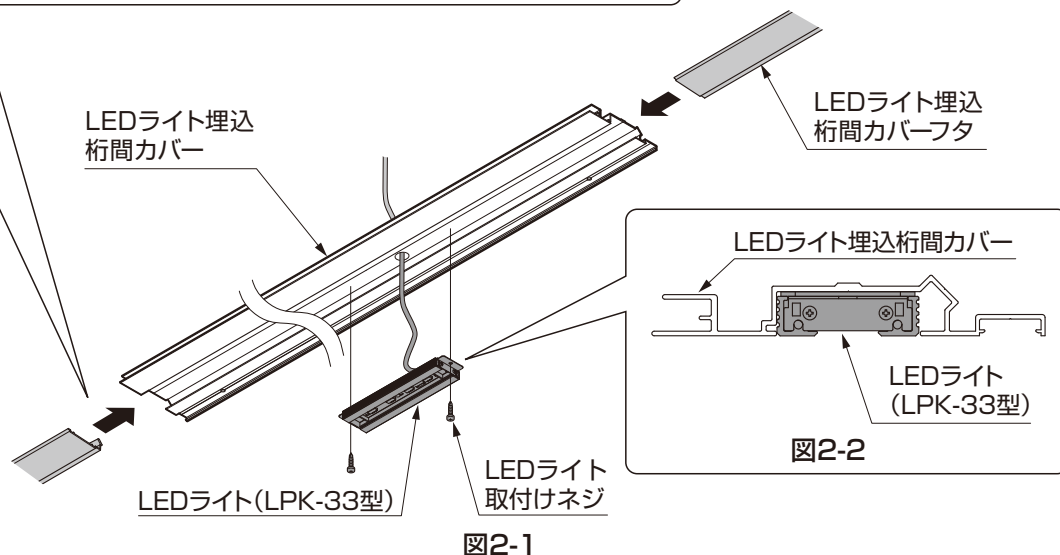
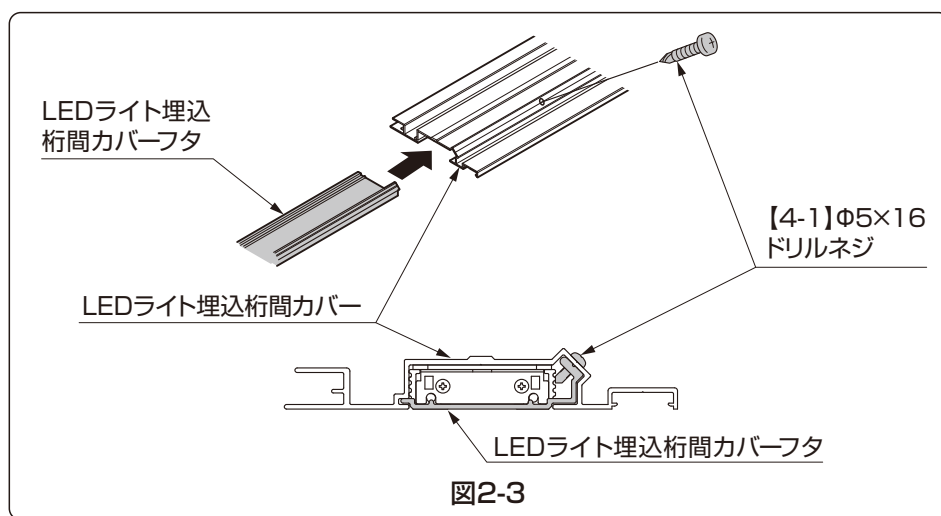
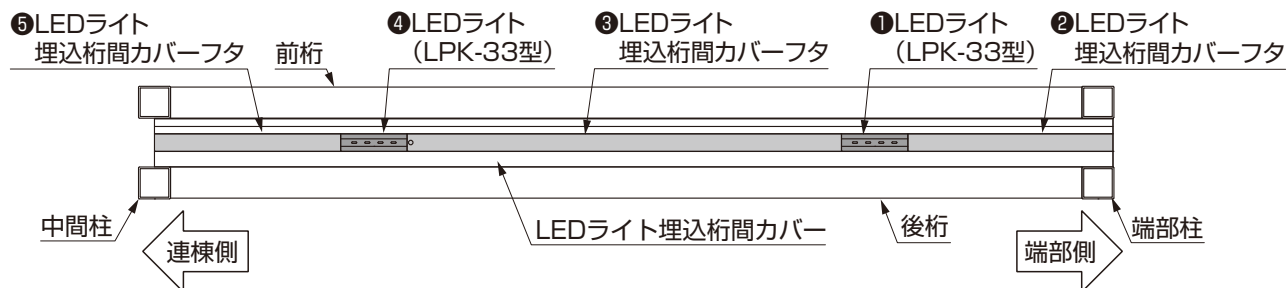
図1-4 LEDライト埋込桁間カバー

- ③ LEDライト埋込桁間カバーフタの端部柱側に、桁端部キャップ取付穴をあけてください。(図1-3参照)
- ④ LEDライト埋込桁間カバーに、LEDライト埋込桁間カバーフタ取付穴をあけてください。(図1-4参照)

ポイント

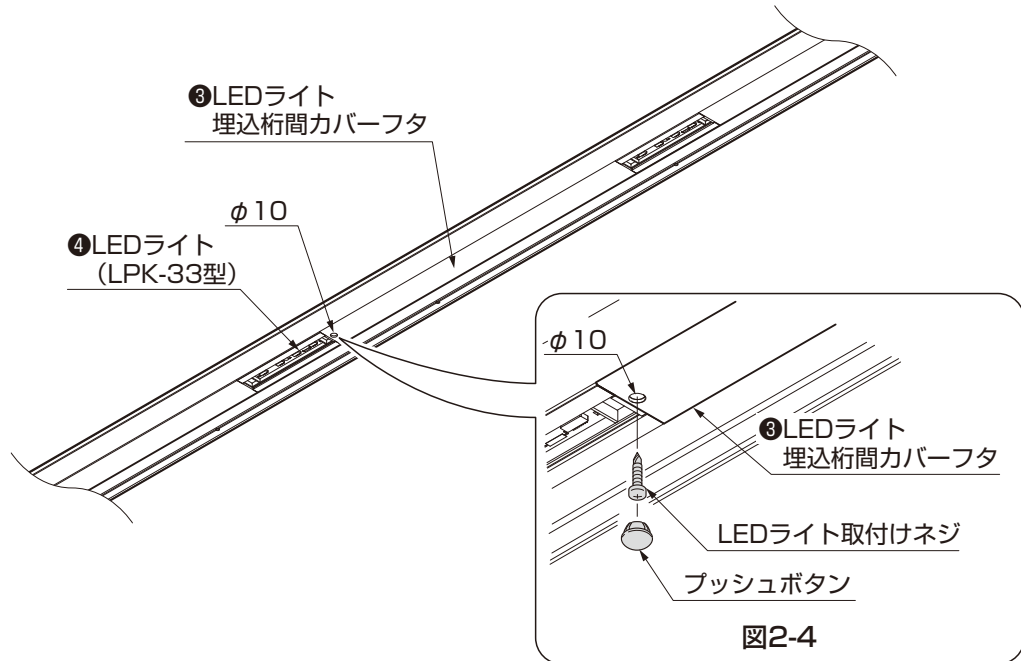
- LEDライト埋込桁間カバーフタ取付穴は図の通りにあけてください。違ったところにあけるとLEDライト損傷やLEDライトとLEDライト桁間カバーフタとの間にすき間ができるおそれがあります。

2. LEDライト(LPK-33型)の取付け



- ①端部柱側の①LEDライトを、LEDライト埋込桁間カバーにLEDライト取付けネジで取り付けてください。(図2-1、図2-2参照)
- ②端部柱側の②LEDライト埋込桁間カバーフタを、LEDライト桁間カバーに端部柱側から差し込み、【4-1】Φ5×16ドリルネジで取付けてください。(図2-1、図2-3参照)
- ③①と④のLEDライト間の③LEDライト埋込桁間カバーフタを、LEDライト桁間カバーに中間柱側から差し込み、【4-1】Φ5×16ドリルネジで取付けてください。(図2-1、図2-3参照)
- ④中間柱側の④LEDライトを、LEDライト桁間カバーにLEDライト取付けネジで取付けてください。(図2-1、図2-2参照)
- ⑤中間柱側の⑤LEDライト埋込桁間カバーフタを、LEDライト桁間カバーに中間柱側から差し込み、【4-1】Φ5×16ドリルネジで取付けてください。(図2-1、図2-3参照)

2. (つづき)



- ⑥ LEDライト取付け後、③ LEDライト埋込桁間カバーフタにあけたφ10の穴にプッシュボタンを取付けてください。
(図2-4参照)

⚠ 注意

- AC100Vの電線の埋設工事、配線工事に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 接地工事は電気設備の技術基準にしたがって、確実に行ってください。

🔑 ポイント

- LEDライト取付け仕様はLEDライトの取付説明書(Z533)を参照してください。
- LEDライトのエンドキャップは取付けないでください。
- LEDライト取付けネジはLEDライト梱包内にあります。

連棟部側にあける場合 端部側にあける場合

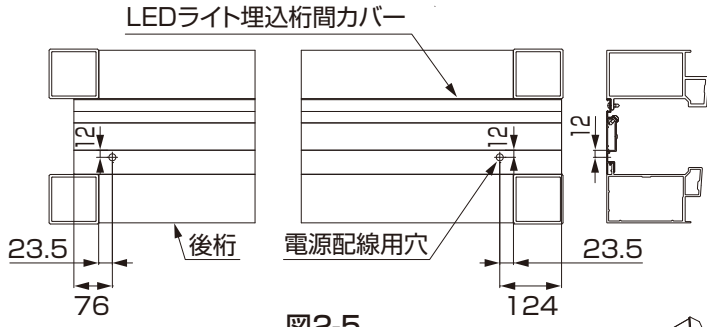
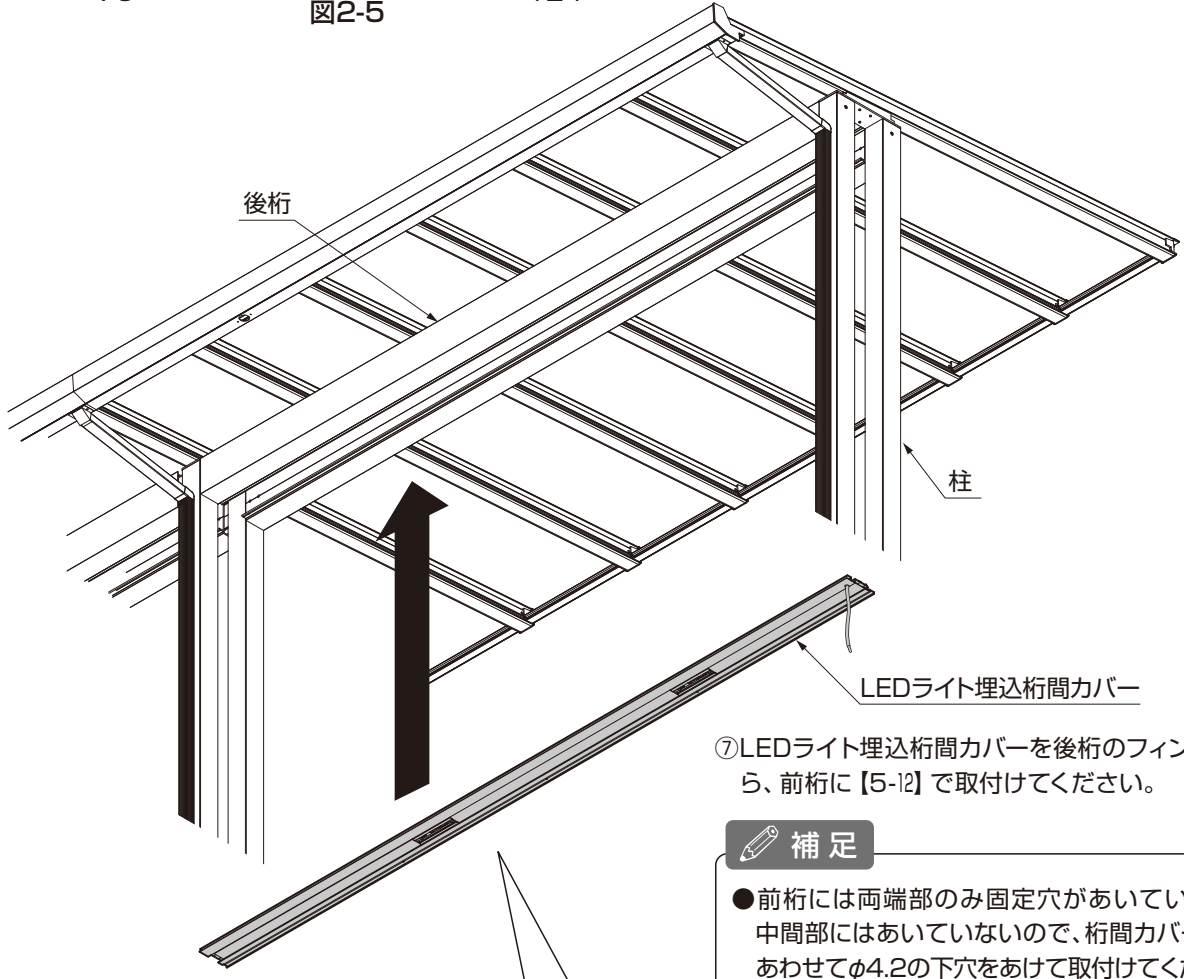


図2-5

補足

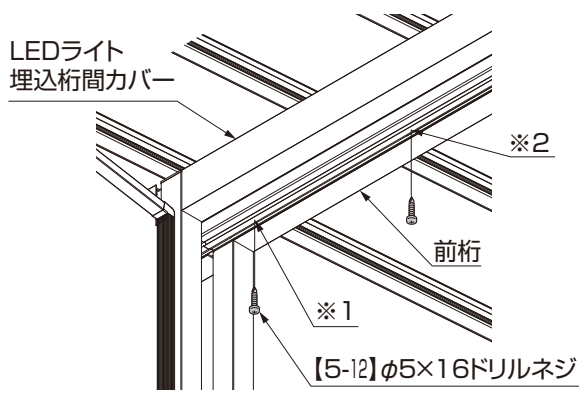
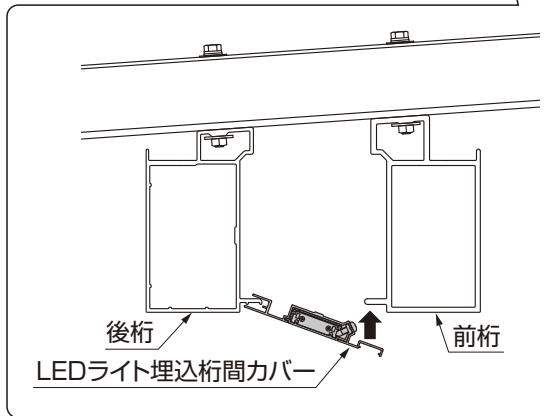
● 桁に組付ける前に、任意の箇所に電源配線用穴をあけておくと、後の作業が楽になります。(図2-5参照)
現場ごとに電源配線が異なりますので、現場の電源配線が通る穴をあけてください。



⑦ LEDライト埋込桁間カバーを後桁のフィンに差込んでから、前桁に【5-12】で取付けてください。

補足

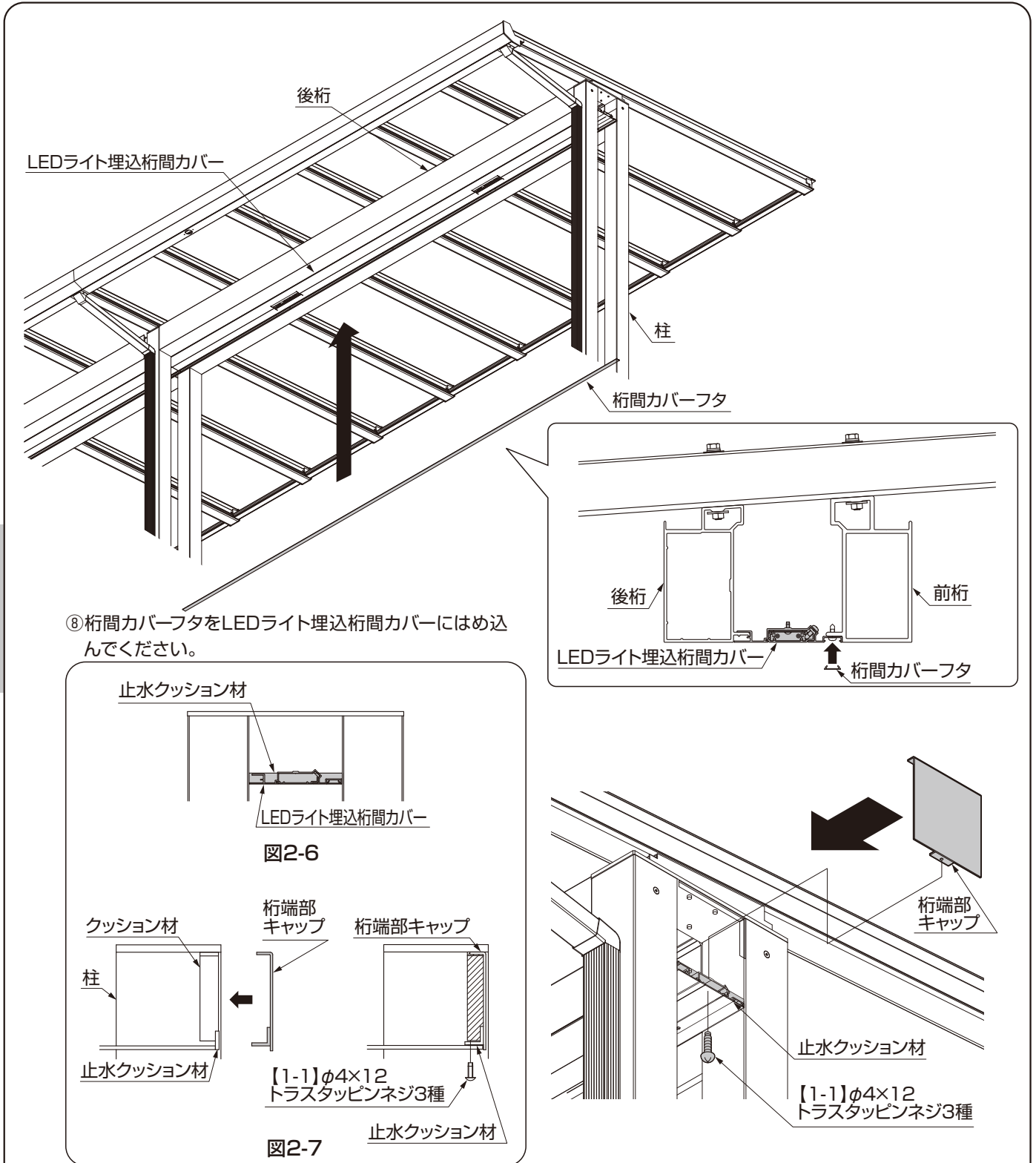
● 前桁には両端部のみ固定穴があいています。(※1) 中間部にはあいていないので、桁間カバーの穴位置にあわせてφ4.2の下穴をあけて取付けてください。(※2)



2. (つづき)

4

埋込型LED
ライトの施工方法



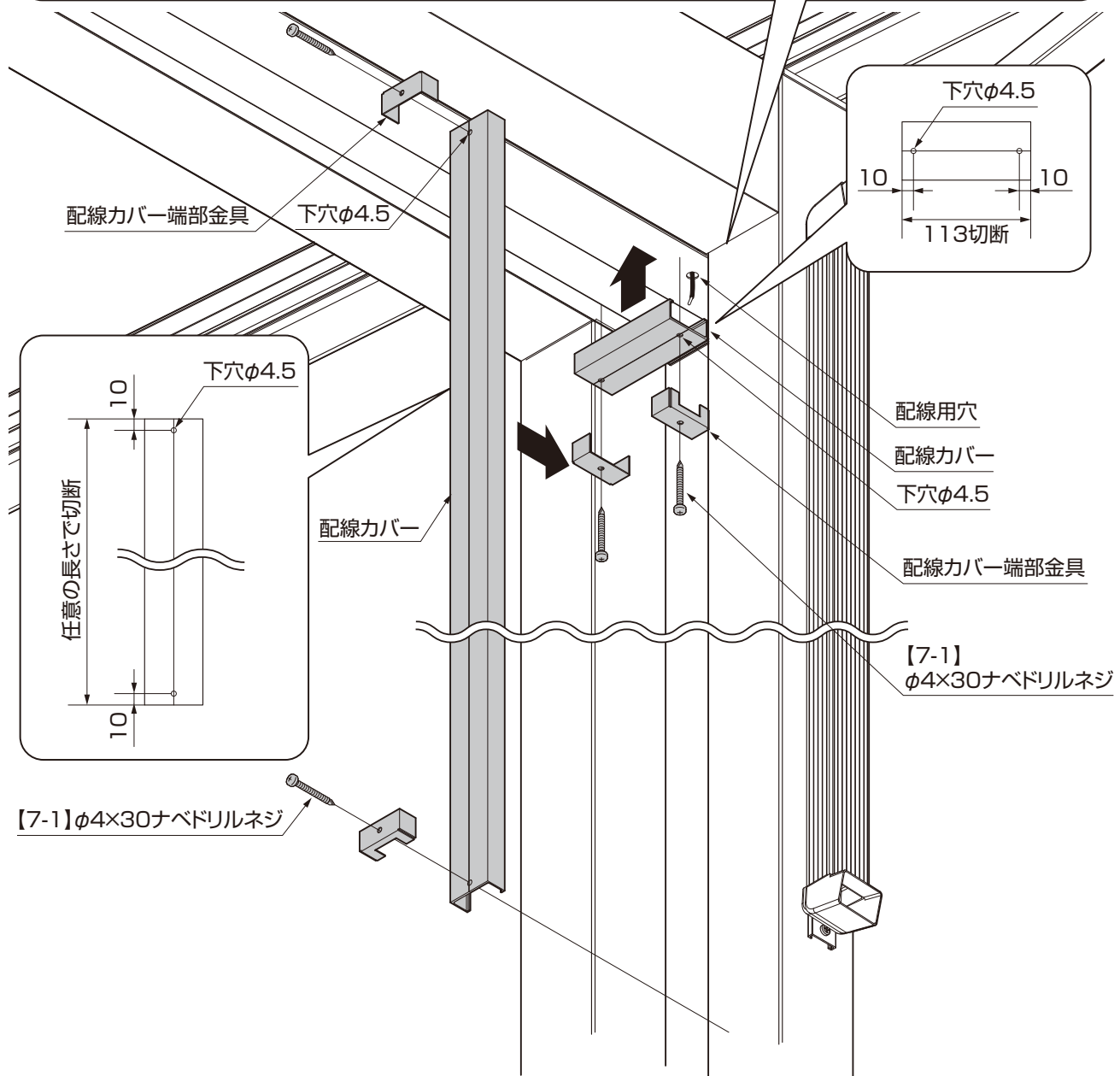
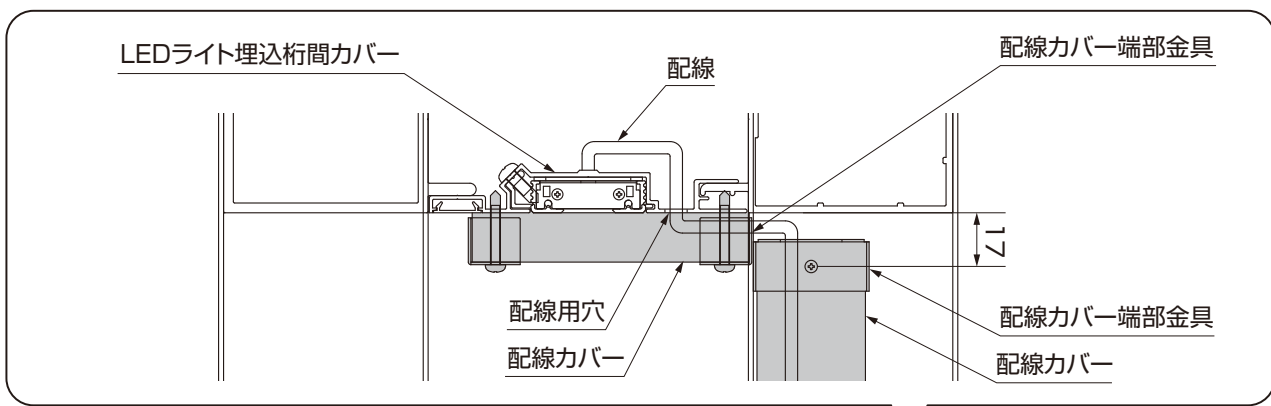
⑧ 桁間カバーフタをLEDライト埋込桁間カバーにはめ込んでください。

⑨ LEDライト埋込桁間カバーに止水クッション材を貼付けてください。(図2-6参照)

⑩ 桁端部キャップを【1-1】でLEDライト埋込桁間カバーフタに取付けてください。

ポイント

- 桁端部キャップは止水クッション材を押しつぶすように、グッと水平に押し込んでください。(図2-7参照)
- 桁端部キャップが柱より外側に出ないように取付けてください。



- ① 配線カバーを任意の長さで切断してください。
- ② 配線カバーにφ4.5の下穴をあけてください。
- ③ 配線カバー端部金具を配線カバーの両端に【7-1】で取付けてください。

5 Y合掌の施工方法 **オプション**

1. 基礎施工

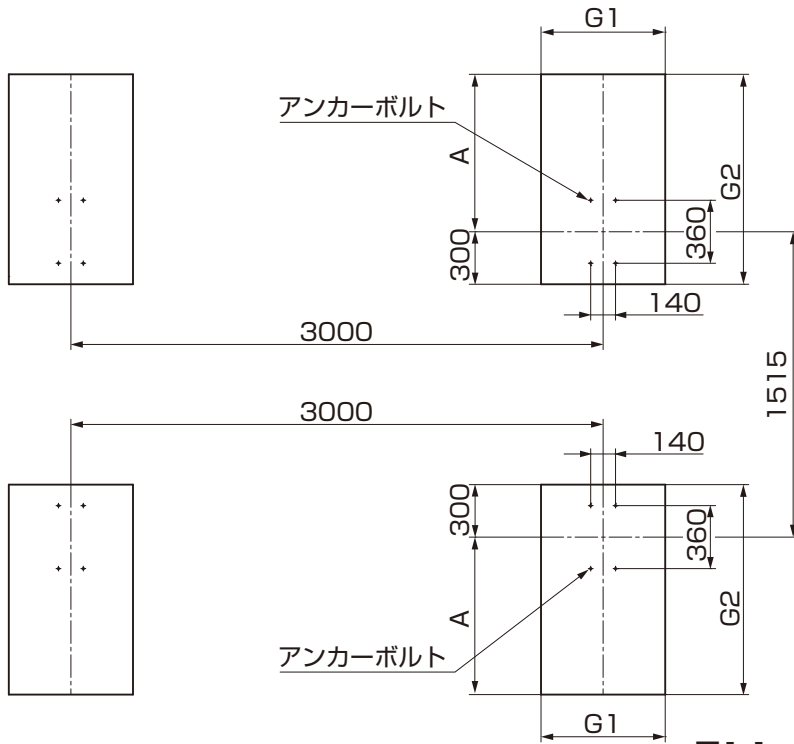


図1-1

基準風速	G1	G2	A
34m/s	700	1200	900
38m/s	800	1300	1000

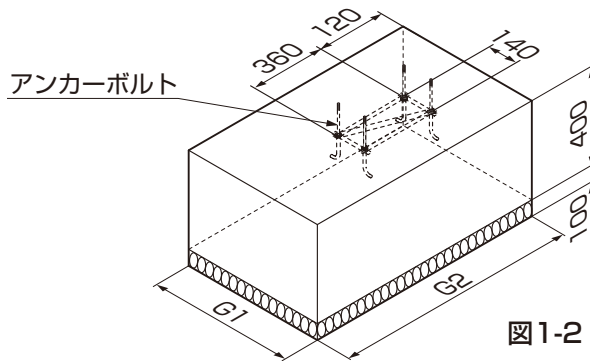


図1-2

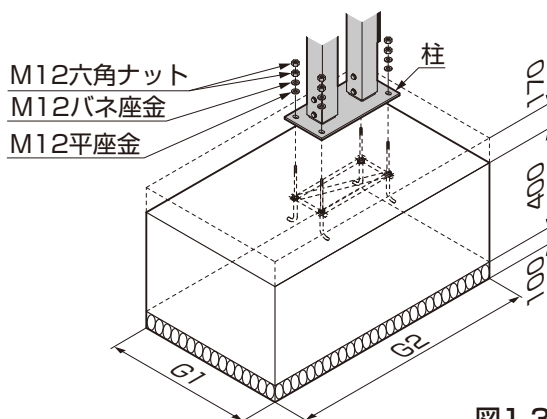


図1-3

ポイント

- アンカーボルトは別途アンカーセットで施工してください。
- アンカーボルトの施工時には、必ずアンカーセットの取付説明書(E311)をお読みください。
- 基礎のレベルが出ているか確認してください。レベルが出ていないと桁の取付けが困難になります。

補足

- 基礎は地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度50kN/m²のときの参考寸法です。設置場所や地盤状況に合わせて検証してください。

ポイント

- ナットは桁を柱に差込んでから仮締めし、桁取付後に本締めしてください。
- 柱の埋め込みは桁の取付以降に行ってください。

2. Y合掌部材の取付け

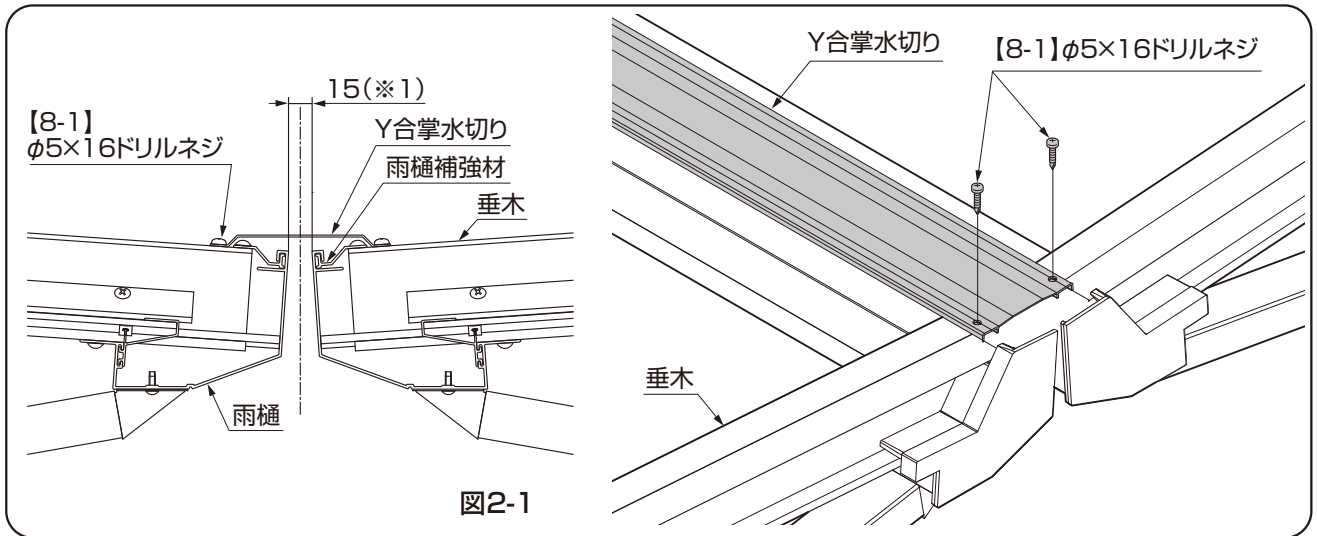


図2-1

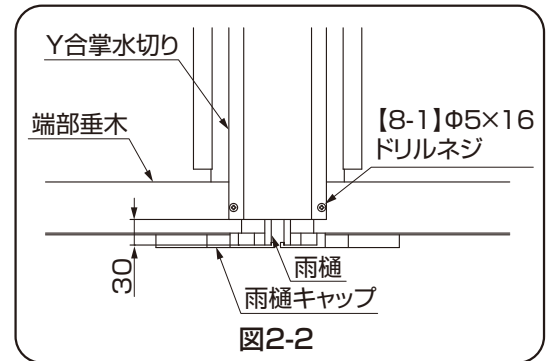
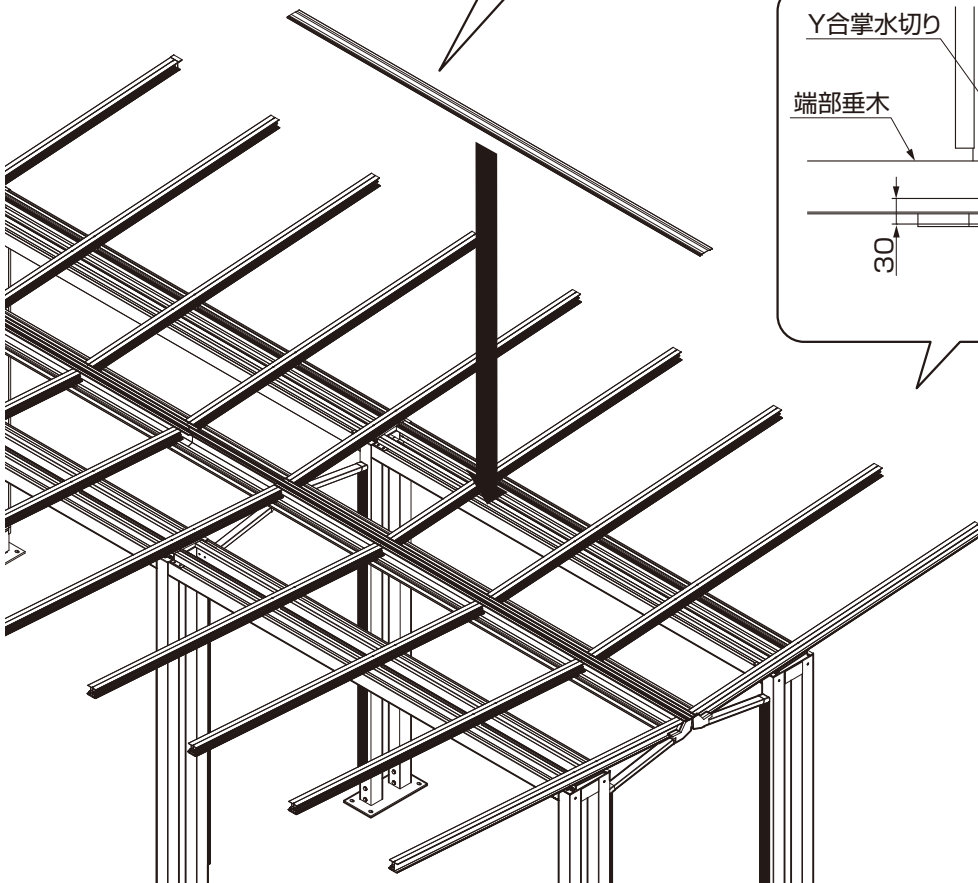


図2-2

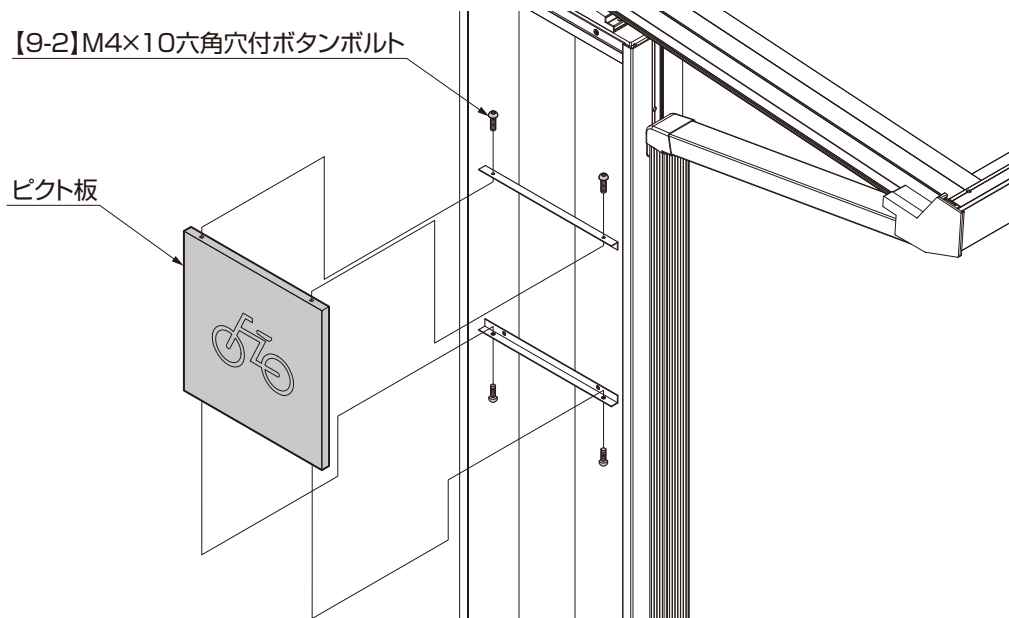
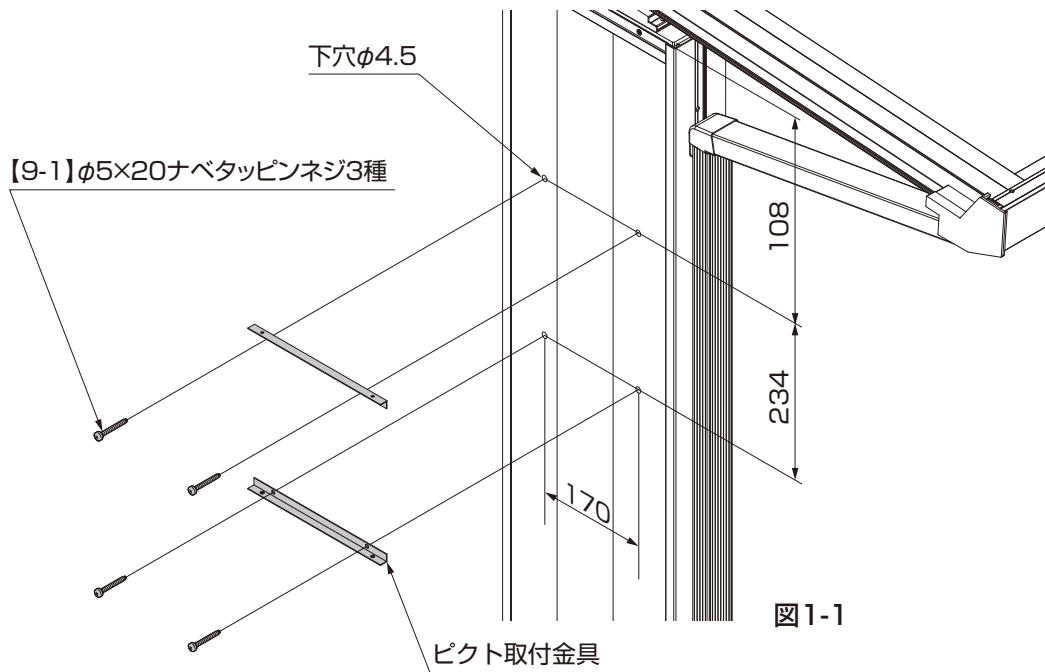
- ① Y合掌水切りを現場に合わせて、任意寸法に切断してください。
- ② 雨樋組付け後、垂木にY合掌水切りを【8-1】で取付けてください。端部は端から30mmはなして取付けてください。(図2-2参照)

補足

- Y合掌水切りを取付穴をあいていません。
- Y合掌水切りは垂木2本おきにネジ止めしてください。
- 雨樋間のすき間は±4mm以内で調整できます。(※1)

6 ピクト板の施工方法 **オプション**

1. ピクト板の取付け



- ①柱に下穴をあけてください。(図1-1参照)
- ②ピクト取付金具を柱に【9-1】で取付けてください。
- ③ピクト板をピクト取付金具に【9-2】で取付けてください。